

令和5年度

浜名湖ガーデンパーク東屋・日本庭園整備工事

建築図	
A- 01	表紙・図面目録
A- 02	建築木造工事特記仕様書 1/9
A- 03	建築木造工事特記仕様書 2/9
A- 04	建築木造工事特記仕様書 3/9
A- 05	建築木造工事特記仕様書 4/9
A- 06	建築木造工事特記仕様書 5/9
A- 07	建築木造工事特記仕様書 6/9
A- 08	建築木造工事特記仕様書 7/9
A- 09	建築木造工事特記仕様書 8/9
A- 10	建築木造工事特記仕様書 9/9
A- 11	使用材料表 1/2
A- 12	使用材料表 2/2
A- 13	建築木造工事特記仕様書 別紙 1/1
A- 14	施工条件特記仕様書
A- 15	案内図
A- 16	全体配置図
A- 17	配置図・仮設計画図(参考)
A- 18	現況平面図
A- 19	配置図・平面図・立面図・断面図
A- 20	断面詳細図・基礎部分詳細図
A- 21	柱伏図・部分詳細図
A- 22	下段梁伏図・上段梁伏図
A- 23	垂木伏図・屋根伏図
A- 24	配置平面図
A- 25	擁壁構造図
A- 26	雑詳細図
A- 27	標準断面図
A- 28	給排水設備図

11 流動化コンクリート (6.15.1)
適用箇所 図示による
12 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地 (6.6.4) (6.8.1) (9.7.3)
打継ぎの位置 標準仕様書6.6.4(1)による
目地寸法 標準仕様書9.7.3(1)(7)による
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法 図示
O 13 構造体コンクリートの仕上げ (6.2.5)
合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ
種類 適用箇所
A種
B種
C種
コンクリート仕上の平坦さ
種類 適用箇所
a種
b種
c種
14 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)
打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
20mm
打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
10mm
20mm
O 15 型枠 (6.8.2)
せき板の材料及び厚さ
合板[G]
12mm
断熱材を兼用した型枠材
使用箇所 図示
MCR工法用シート
適用箇所 図示
打増し厚さ 20mm
打増し範囲 図示による
スラブの材質・規格等 図示
16 コンクリートの単位水量測定 (6.8.2)
実施要領 図示
17 耐震スリット
方向 耐力
耐火性能
防水性能
備考
垂直方向 完全(全貫通型) 耐火型 有り
水平方向 非耐火型 無し
目地(目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による)
目地材 シート材(見え掛り部のみ) フラット材(見え掛り部のみ)
目地寸法(mm) 幅20×深さ10 幅20×深さ10
施工箇所 図示
18 止水板
形式 差込式 据置式 壁張り式
形式位置 図示
4章 木造工事
1 ホルムアルデヒド放散量 (4.1.4)
材料のホルムアルデヒド放散量 木材標準仕様書4.1.4(1)による
適用樹種
2 防霉・防蟻処理 (4.2.1)
防霉・防蟻処理が不要な材種による製材
適用部材(部位) 防霉・防蟻処理が不要な材種
工場における薬剤の加圧注入等による防霉・防蟻処理
適用部材(部位) 防霉・防蟻処理が不要な材種
K2 K3 K4 AQ3 AQ2 AQ1
木造標準仕様書4.2.1(1)(b)に基づく加圧式保存処理の場合
保存処理の性能
イソイソン 適用する 適用しない
薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理
薬剤の種類 適用部材(部位)
木造標準仕様書4.2.1(1)(a)による
防腐薬A(規定)に基づく表面処理用木材
保存剤による場合
薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理
適用部材(部位) 処理方法
合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等による防霉・防蟻処理
保存処理の性能区分 K3 AQ4
適用部材(部位) 図示
地盤に接する鉄筋コンクリート等による床下の防蟻処理
適用は木造標準仕様書4.2.2 (7)による (7)による
土壌の防蟻処理
使用する薬剤
処理方法及び使用量
帯状散布
帯状の幅(cm)
液剤処理長さ(L/m)
粒剤
面状散布
液剤処理長さ(L/m)
粒剤
3 防霉措置 (4.2.4)
基礎外周部の換気
ねこ土台
材質
防鼠スチーツ又は防虫網付き
換気孔
防鼠スチーツ又は防虫網付き

小屋裏換気方法は木造標準仕様書4.2.4(3)
(a) (b) (c) (d) (e)
4 防火被覆処理 (4.3.1)
国土交通大臣の認定を受けた材料又は工法
防火被覆の材料および工法 (4.3.2)
防火被覆の材料
図示
防火被覆の厚さ
図示
防火被覆の留付け材の種類
図示
防火被覆の留付け間隔
図示
防火被覆の下地材への留付け長さ
図示
防火被覆の下地材への端あき距離
図示
防火被覆材の下地材への接着剤の使用
使用する 使用しない
防火被覆材の目地等の処理方法
図示
柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火処理
図示
防火被覆処理部への二次部材の取付け
防火被覆処理部の設備配管等の貫通部処理
図示
防火被覆処理部への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
図示
燃えしろ層の工法
燃えしろ層の厚さ
図示
柱又は梁の継手及び仕口の接合金物の防火被覆処理
図示
接合具にボルト、ドリフトピン等を用いる場合の防火被覆処理
図示
燃えしろ層への二次部材の取付け
燃えしろ層の配管等の貫通部処理
燃えしろ層への建具、設備機器の取付け方法及び取付け金物の防火被覆処理
図示
不燃処理木材等 図示
O 5 運搬・建方
構造材の運搬・建方は、静岡県木造建築工事特記仕様書 別紙「III 運搬・建方」による。
5章 軸組構法(壁構造系)工事 (5.2.2)
1 木材 (5.2.2)
軸組構法(壁構造系)工事に使用する木材は、使用材料表1による
2 構造用面材 (5.2.3)
軸組構法(壁構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表2による
3 接合金物 (5.2.4) (5.5.8)
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 短期許容耐力(kN) その他
火打金物
筋交いプレート
引き寄せ金物
梁受け金物
Z、C、x、D、S*表示金物に付属する接合具も含む。
Z、C、D、S*表示金物以外の接合金物
種類 材質 寸法・形状等 備考
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
4 釘及び木ねじ (5.2.4) (5.5.7) (5.5.9)
釘 (JIS A 5508)
種類 材質 その他
鉄丸くぎ
表面処理された鉄
太め鉄丸くぎ
表面処理された鉄
木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)
種類 材質 その他
十字穴付き木ねじ
スワム製
JIS B 1112
すりわり付き木ねじ
スワム製
JIS B 1135
釘(JIS A 5508)、木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)に規定されているもの以外の接合具、接合金物
用接合具等
材質
寸法及び形状 図示
5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 (5.2.4) (5.5.10)
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 その他
アーカーボルト
六角ボルト
座金
Z、C、x、D、S*表示金物に付属する接合具も含む。
Z、C、x、D、S*表示金物以外の接合具
種類 材質 寸法・形状等 備考
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
6 釘、ナット及び座金
材料 木造標準仕様書5.2.2による
寸法 図示
座金の種類 引張り応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書5.2.3
せん断応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書5.2.4
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④

アーカーボルト、ナット及び座金
材質
寸法 図示
座金の種類 引張り応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書5.2.3
せん断応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書5.2.4
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
6 ラグスクリー (5.2.4) (5.5.11)
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 その他
ラグスクリー
Z、C、x、D、S*表示金物以外のラグスクリー
種類 材質等 寸法・形状等
ラグスクリー
木造標準仕様書5.2.2のボルトによる
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーの取付け方法
図示
7 ドリフトピン (5.2.4) (5.5.12)
種類 材質等 寸法・形状等
ドリフトピン
SS400 (JIS G 3101)
丸鋼 (JIS G 3191)
径
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法
図示
8 木栓及び木だば (5.2.4) (5.5.13)
種類 樹種名 形状・長さ・木だば径等 その他
木栓
木だば
9 接着剤 (5.2.4)
床鳴り防止用接着剤
床板太用接着剤JIS A 5550に基づく接着剤の種類
接着剤による接合
接着剤の種類
接着剤を併用した接合
接着剤の種類
10 孔あけ加工 (5.4.3)
ボルトの径に加える木のボルトの大きさ
木造標準仕様書5.4.2による
ドリフトピンの孔径
ピン径と同径
図示
11 表面仕上げ (5.4.4)
見え掛り面の表面の仕上げの程度
製材
機械加工
手加工
A種 B種 C種
H-A種 H-B種 H-C種
構造用集成材
機械加工
丸太材
A種 B種
丸太材
機械加工
手加工
A種 B種
H-A種 H-B種
木材保護塗料塗り
標準仕様書表18.12.11による
施工箇所
種類
A種 B種
12 アンカーボルトの設置等 (5.5.3)
埋込み深さ
図示
保持及び埋込み工法
種別
A種 B種
埋め込み位置の許容誤差
±5mm (JASS6 付則6「鉄骨精度検査基準」付表5「工事現場」(3)による)
13 基礎天端及び底均しモルタルの仕上げ (5.5.4) (15.3.2)
材料
木造標準仕様書5.5.4(7)による
無収縮セメント
厚さ
図示
14 建方精度 (5.5.6)
建入れ直し後の建方精度の許容値(垂直、水平の誤差の範囲)
別紙III 6(1)に定める
1/1,000以下
15 接合金物の工法 (5.5.8)
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用する接合金物の取付け方法
図示
熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱
埋め木
簡易発泡硬質ポリフォーム断熱材 (JIS A 9526)
16 釘、木ねじ等の工法 (5.5.9)
釘、木ねじの種類及び間隔
図示
構造材を仕上材として用いる場合の釘打ち
隠し釘打ち
釘頭埋め木
つぶし頭釘打ち
釘頭埋め
17 各種ボルトの工法 (5.5.10)
ボルトの種類、径、本数、間隔及びボルトに応じた座金の大きさ
図示
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するボルトの取付け方法
図示
18 火打土台 (5.6.2)
木製の火打土台
鋼製の火打土台
19 火打梁 (5.7.8) (5.8.6)
小屋組の火打梁
木製の火打梁
鋼製の火打梁
床組の火打梁
木製の火打梁
鋼製の火打梁

21 床束 (5.8.2)
木製床束
鋼製床束
仕様及び設置方法
図示
樹脂製床束
仕様及び設置方法
図示
6章 軸組工法(軸構造系)工事 (6.2.2)
O 1 材料 (6.2.2)
軸組構法(軸構造系)工事に使用する木材は、使用材料表3による
2 構造用面材 (6.2.3)
軸組構法(軸構造系)工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による
O 3 接合金物 図示による (6.2.4)
Z、C、x、D、S*表示金物以外の接合金物
種類 材質 寸法・形状等 備考
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 短期許容耐力(kN) その他
火打金物
筋交いプレート
引き寄せ金物
梁受け金物
Z、C、x、D、S*表示金物に付属する接合具も含む。
O 4 釘及び木ねじ 図示による (6.2.4) (6.5.10)
釘 (JIS A 5508)
種類 材質 その他
鉄丸くぎ
表面処理された鉄
太め鉄丸くぎ
表面処理された鉄
木ねじ (JIS B 1112又はJIS B 1135)、その他の木ねじ
種類 材質 その他
十字穴付き木ねじ
スワム製
JIS B 1112
すりわり付き木ねじ
スワム製
JIS B 1135
釘(JIS A 5508)、木ねじ(JIS B 1112又はJIS B 1135)に規定されているもの以外の接合具、接合金物
用接合具等
材質
寸法及び形状 図示
O 5 ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金 図示による (6.2.4) (6.5.11)
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 その他
アーカーボルト
六角ボルト
座金
Z、C、x、D、S*表示金物に付属する接合具も含む。
Z、C、x、D、S*表示金物以外の接合金物
種類 材質 寸法・形状等 備考
表面処理
木造標準仕様書5.2.2による
寸法 図示
座金の種類 引張り応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書6.2.3
せん断応力を受けるボルトの座金
木造標準仕様書6.2.4
表面処理
木造標準仕様書5.2.4(1)(c)④
6 ラグスクリー (6.2.4) (6.5.12)
Z、C、x、D、S*表示金物
種類 記号 その他
ラグスクリー
Z、C、x、D、S*表示金物以外のラグスクリー
種類 材質等 寸法・形状等
ラグスクリー
木造標準仕様書6.2.2のボルトによる
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するラグスクリーの取付け方法
図示
7 ドリフトピン (6.2.4) (6.5.13)
種類 材質等 寸法・形状等
ドリフトピン
SS400 (JIS G 3101)
丸鋼 (JIS G 3191)
径
表面処理
木造標準仕様書6.2.4(1)(a)④
構造材を仕上げ材として用いる場合の見え掛り部に使用するドリフトピンの取付け方法
図示
浜名湖花博20周年記念事業
実行委員会(県部会)
(株)大瀧建築事務所
管理建築士 増田洋一
一級建築士登録 第276882号
検閲
作図
日付
2023/8/31
建設工事名
令和5年度
浜名湖ガーデンパーク東屋・日本庭園整備工事
3 / 9
A-04

5 外壁乾式工法 (10.2.2)(10.5.2)(10.5.3)(表10.2.4)

乾式工法による金物の種類、形状、寸法等
 標準仕様書表10.2.4による
 方式 ・スライド方式 ・ロック方式

あと施工アンカーの材質及び寸法等
 種類
 材質
 寸法

だば穴の位置 標準仕様書10.5.2(2)(7)による
 裏打ち処理 ・適用する ・適用しない
 建築基準法に基づく風圧力に対応した工法
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法

アンカー材
 種類 標準仕様書9.7.1による
 目地幅及び深さ

6 床及び階段の石張り (10.6.2)(10.6.3)

浸透性吸水防水剤
 床石張り ・適用する ・適用しない
 石裏面処理
 床石張り ・適用する ・適用しない
 階段張り ・適用する ・適用しない
 裏打ち処理
 床石張り ・適用する ・適用しない

一般目地

目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
目地幅		
既調合の目地幅		
アンカー材		標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地
 位置 標準仕様書10.6.2(5)(f)(a)による
 アンカー材の種類 標準仕様書表9.7.1による
 目地寸法 幅・深さと10mm以上

7 笠木、甲板等の石張り (10.2.2)(10.7.1)(10.7.2)

取付工法 ・湿式工法 ・乾式工法
 特殊部位用金物
 材質 SUS304
 寸法等
 引金物 標準仕様書10.2.3による
 だば 標準仕様書10.2.3による
 かすがい 標準仕様書10.2.3による
 受金物 標準仕様書10.2.2(1)(f)による
 乾式工法による金物の種類、形状、寸法等
 ファスナー 標準仕様書表10.2.4に準ずる
 方式 ・スライド方式 ・ロック方式

あと施工アンカーの材質及び寸法等
 種類
 材質
 寸法

石裏面処理 ・適用する ・適用しない
 乾式工法の場合の取付付け代 70mm程度
 石材の裏面の補強用材料 ・適用する ・適用しない

一般目地

目地幅(mm)	深さ(mm)	種類
目地幅		
既調合の目地幅		
アンカー材		標準仕様書9.7.1による

伸縮調整目地
 位置 標準仕様書10.6.2(5)(f)(a)による
 アンカー材の種類 標準仕様書表9.7.1による
 目地寸法 幅・深さと10mm以上

13章 タイル工事 (11.1.3)(表11.1.1)

1 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 (11.1.3)(表11.1.1)

位置 標準仕様書表11.1.1による
 目地寸法 幅・深さと10mm以上

2 見本焼き、試験施工 (11.1.3)(表11.1.1)

見本焼き ・行う
 試験張り ・行う(範囲、仕様等は図示による) ・行わない

3 セメントモルタルによるタイル張り (11.2.2)(11.2.3)(11.2.6)(11.2.7)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐清理性	備考
				I類	II類	III類	施軸	無軸					

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
 既製調査材料(品質・性能、試験方法は別表による)
 下地としたタイル工事に使用する据付け用材料として、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
 既製調査目地材(品質・性能、試験方法は別表による)
 下地タイル塗りをを行うコンクリート素地の処理
 ・目荒し工法(高圧洗浄)
 ・MCR工法

壁タイル張りの工法
 内外装タイル ・密着張り ・改良積上げ張り
 内装タイル以外のコンクリートタイル ・マス張り ・セメントタイル張り

4 有機系接着剤によるタイル張り (11.3.2)~(11.3.6)

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり		役物	色	耐凍害性	耐清理性	備考
				I類	II類	III類	施軸	無軸					

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
 内装タイル接着剤張りの接着剤の放射線量 F☆☆☆☆

目地のシーリング材
 打継ぎ目地 変形シリコン系シーリング材
 ひび割れ誘発目地 変形シリコン系シーリング材
 伸縮調整目地 変形シリコン系シーリング材
 下地調整材塗りをを行うコンクリート素地の下地処理
 目荒し工法(高圧洗浄) ・MCR工法
 外装タイルの目地詰め ・行う ・行わない

14章 屋根及びい工事 (14.3.2)(14.3.3)(14.3.7)(14.3.8)

1 金属板葺 (14.3.2)(14.3.3)(14.3.7)(14.3.8)

施工箇所	板及び骨材の種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺き形式	備考
	JIS G 3322の屋根用鋼板			平葺(一文字葺) 心木あり瓦葺葺 心木なし瓦葺葺 横葺 立平葺	

下葺材料 (14.2.2)
 改良アスファルトフィング下葺材(一般タイプ)
 アスファルトフィング940

固定釘の材質 (14.3.2)
 木造標準仕様書表14.3.2による
 材質:
 ・心木の防腐・防蟻処理方法:
 ・平葺(一文字葺)の工法:
 ・はぜの作り方

図示

心木あり瓦葺葺の工法 (14.3.5)
 ・鋼板以外の板による屋根一般部の工法
 溝板及び骨材の留付け方法 木造標準仕様書14.3.5(3)(7)(c)による
 瓦葺の間隔 図示

鋼板による屋根一般部の工法 (14.3.5)
 瓦葺の間隔 図示

心木なし瓦葺葺の工法 (14.3.6)
 屋根の流れ方向に平行な壁との取合い部
 ・雨押さえを付ける場合
 木造標準仕様書14.3.6(4)(a)による
 ・雨押さえを用いない場合
 木造標準仕様書14.3.6(4)(b)による

2 折板葺 (14.4.2)(表14.3.1)

施工箇所	形式	山高、山ピッチによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ(mm)	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ピッチ					
	重ね形 はぜ締め形			()種	鋼板製		有り 無し	30分 無し

材料
 板及び骨材の種類:
 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号:
 断熱材
 ・行う
 断熱材の種類:
 厚さ(mm):
 防火性能:
 ・行わない

タイルを留め付ける下地材

材質	形状	寸法

工法
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法
 耐雪性能に対応した工法 ・適用する ・適用しない

3 粘土瓦葺 (14.5.2)

施工箇所	種類			役物				大きさ	産地等
	形状による区分	製法による区分	寸法による区分	軒瓦	そのし瓦	電瓦	止瓦		
東屋、瓦葺	○1形瓦 △S形瓦 ▽F形瓦								

瓦枚木
 材質 杉
 寸法 木造標準仕様書14.5.2(2)(7)による
 防腐・防蟻処理の種類

棟補強用心材
 材質 杉
 寸法 木造標準仕様書14.5.2(3)による
 防腐・防蟻処理の種類

瓦緊結用釘又はねじ

種類	材質等	径及び長さ
瓦緊結用くぎ	スチール製	
瓦緊結用ねじ	スチール製	

棟補強用心物等

種類	材質等	径及び長さ
棟補強用心物	スチール製又は溶融亜鉛めっき処理を行った鋼製	

工法 (14.5.3)
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法
 瓦の緊結方法等工法 図示
 瓦枚木の留付け工法 図示
 棟の工法 ・7寸伏せ棟又はF型用冠瓦伏せ棟 ・のし積み瓦
 面戸、雀口及び葺土の露出する瓦接合部に仕上げを施す場合
 ・タイル
 ・瓦葺き用しっくい

瓦枚木の留付け工法 図示
 棟の工法 木造標準仕様書14.5.3(4)(7)(f)による

4 スレート葺 (14.6.2)

種類	寸法(mm) (全長×全幅)	役物		着色(色調)	備考
		種	けらば		
				無 有 無 有	

工法 (14.6.3)
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法
 雪止め ・設置する(図示) ・設置しない

5 アスファルトシングル葺 (14.7.2)

品質	形状	色調	寸法(mm)	備考

工法 (14.7.3)
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法
 軒先、けらば等に曲面を設ける場合 半径500mm以上
 雪止め ・設置する(図示) ・設置しない

6 とい (14.8.2)(14.8.3)(表14.8.2)

といの材料 (14.8.2)(14.8.3)
 ・金属板(鋼板を除く)
 種類 木造標準仕様書14.8.2:
 板厚
 ・谷どい
 種類 木造標準仕様書14.8.2:
 板厚
 ・鋼板
 板厚
 ・硬質塩化ビニル樹脂製
 種類:
 外形:
 板厚:
 長さ:
 多雪地域 ・適用する ・適用しない
 硬質塩化ビニル製集水器の形状 図示
 硬質塩化ビニル製あんこうの形状 図示

14章-2 金属工事 (14.2.1)(表14.2.1)

1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1)(表14.2.1)

種別	色合い等	施工箇所(成形板、笠木、建具以外)

陽極酸化皮膜の着色方法 二次電解着色 ・三次電解着色

2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、フラップ以外)
溶融亜鉛めっき	A種 B種 C種	
電気亜鉛めっき	D種 E種 F種	

3 軽量鉄骨天井下地 (14.4.2)~(14.4.4)(表14.4.1)

特定天井 ・有(仕様、位置は図示による) ・無し
 野縁等の種類
 屋外 25形 19形
 屋内 19形 25形
 屋外の形式及び寸法
 野縁受、吊りボルト及びびいんの間隔 図示
 周辺部の端からの間隔 図示
 野縁の間隔 図示
 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
 補強方法 図示
 ・天井のふところ高が3.0mを超える場合
 補強方法 図示
 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強
 補強箇所 図示
 補強方法 図示

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
 屋外の軒天上、ピロティ天井の工法
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法

4 軽量鉄骨壁下地 (14.5.3)(表14.5.1)

スラット、ラナの種類 標準仕様書表14.5.1によるスラットの高さによる区分に応じた種類
 図示

スラットの高さが5.0mを超える場合 図示
 出入口及びこれに準ずる開口部の補強 標準仕様書表14.5.4(5)による 図示

5 金属成形板張り (14.6.2)(14.6.3)(表14.2.1)

種別	製法	形状	板幅(mm)	板厚(mm)	表面処理	
					種別	色合い等
アルミニウム	押し出し	スラット形				
	プレス	板形				

取付け用下地 標準仕様書14.41による 図示
 伸縮調整継手 設ける
 施工箇所 図示
 設けない

屋外の軒天上、ピロティ天井の工法
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法

6 アルミニウム製笠木 (14.7.2)(14.7.3)(表14.2.1)(表14.7.1)

種類 ・250形 ・300形 ・350形
 表面処理
 種別 ()種
 色合い等 標準色()
 ・特注色()
 笠木の固定金具の工法等
 1章 適用区分による風圧力の(1 1.15 1.3)倍の風圧力に対応した工法

7 エキスパンションジョイント金物

材種	寸法(mm)	耐火性能	備考
アルミニウム製	50 100	有り()	
スチール製	150	無し	

15章 左官工事 (15.3.2)(15.3.5)

1 モルタル塗り (15.3.2)(15.3.5)

現場調査材料 ・既調合材料()
 既製目地材 ・設ける
 施工箇所:
 形状 図示
 ・設けない
 床目地 ・設ける
 種類 押し目地
 目地割 2m2程度(最大目地間隔3m程度)
 ・設けない

屋外タイル張り下地、屋内の吹抜け部分等のタイル張りの下地タイル塗り及び下地調整塗材塗りの接着剤試験
 ・適用する ・適用しない
 防水剤 品質・性能、試験方法は別表による

2 ラス系下地 (15.2.4)

ラス下地
 ・二層下地通気構法
 ・単層下地通気構法
 換気口部の防水処理 公共木造建築工事標準仕様書11.4.3(2)(7)
 ・直張りラス下地
 ・直張りラス下地
 ・耐力壁、防火構造、準防火構造等の指定

ラスの材料
 種類及び記号:
 単位面積当たりの質量:
 ラスの材料
 75目による区分 M
 山高、山ピッチ、質量及び溶接区分による区分
 ・LS4(建築基準法に基づく耐力壁)

スラブの形状及び寸法:
 直張りラス下地で建築基準法に基づく耐力壁のラスの施工:

3 セッコウボード、その他のボード下地 (15.2.5)

セッコウボード及びセッコウボードの種類及び厚さ
 種類 GB-R GB-L
 厚さ(mm):
 木質系ボードの種類及び厚さ
 種類:
 厚さ(mm):

4 こまい下地 (15.2.6)

建築基準法に基づく耐力壁の指定 あり なし

5 木ずり下地 (15.2.7)

木ずり用小板の種類 杉(芯去り材)

6 仕上塗材仕上げ (15.6.2)

内装仕上げに用いる素材の放射線量 F☆☆☆☆
 仕上塗材の種類
 ・薄付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	防火材料
			適用する 適用する	

・厚付け仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	吸放湿性	上塗り	防火材料
			適用する 適用する	適用する 適用する	

・複層仕上塗材

種類(呼び名)	仕上げの形状	工法	上塗材の種類	耐候性	防火材料
			樹脂 外観 溶媒	耐候型 1種 耐候型 2種 耐候型 3種	

・軽量骨材仕上塗材

種類(呼び名)		防火材料

7 マスチック塗材塗り (15.7.2)

種別 A種 B種

8 ロックウール吹付け (15.12.2)(15.12.3)

ロックウールの放射線量 F☆☆☆☆
 接着剤の放射線量 F☆☆☆☆
 仕上げ吹付け厚さ(mm) 図示 ・25

9 しっくい塗り (15.10.2)(15.10.3)(15.10.4)

しっくい 既調合材料
 ・色しっくい
 ・適用する ・適用しない
 ・現場調査材料
 ・セッコウボード
 ・セッコウボード
 ・タイル塗り
 ・木ずり
 ・こまい土壁塗り
 ・下塗りをセッコウラスとして上塗りに使用する場合

既調合しっくいの調査
 ・セッコウボード下地
 標準仕様書表15.10.1
 ・タイル塗り下地
 標準仕様書表15.10.2
 ・セッコウボード下地
 製造所の仕様による

現場調査しっくいの調査及び各層の塗厚
 ・木ずり下地
 標準仕様書表15.10.3
 ・セッコウラス下地、こまい下地
 標準仕様書表15.10.4
 既調合しっくいの上塗り仕上げ工法
 ・で切り仕上げ
 ・パテ仕上げ

10 こまい壁塗り (15.11.2)～(15.11.5)(15.11.7)(15.11.8)

のり ・ 土壁用ののり
 ・ 漆つものまた ・ ふのり ・ ぎんなんそう ・ 粉末海藻
 ・ 砂壁用ののり
 ・ つものまた ・ ふのり ・ こんにやくのり ・ にかわ ・ 合成樹脂系混和材

色土 ・ 土物仕上げに用いる色土の種類
 ・ 大津仕上げに用いる色土の種類

色砂の種類 ・ 天然砂と岩石の砕砂 ・ 人工的に着色、製造したもの

下塗りの割合 標準仕様書表15.11.2

塗厚 標準仕様書表15.11.8による
 ・ 建築基準法に基づき耐力壁の指定がある場合()

こまい壁の工程 A種 ・ B種

こまい壁塗りの上塗りとする土物仕上げの工法の種類
 ・ 土物仕上げ工法
 ・ 水ごね土物1工法 ・ 水ごね土物2工法 ・ のりさし土物工法 ・ のりごね土物工法
 ・ 砂壁仕上げ工法
 ・ 切返し仕上げ工法

こまい壁塗りの上塗りとする大津仕上げの工法の種類
 ・ 普通大津仕上げ工法 ・ 大津みがき仕上げ工法
 ・ ちりじゃくり
 ・ 図示

16章 建具工事 (16.1.3)

1 防火戸 (16.1.3)

建具による

2 見本の製作等 (16.1.4)

建具見本の製作 ・ 行う
 建具見本の目的等 ・ 行わない
 特殊な建具の取組 ・ 行う
 建具見本の取組 ・ 行わない

3 防犯建物部品 (16.1.6)

適用する
 適用しない

4 アルミニウム製建具 (16.2.2)(16.2.4)(16.2.5)(表14.2.1)(表16.2.1)(表16.2.2)

性能値等

耐風圧性の等級 ・ 建具による
 気密性の等級 ・ 建具による
 水密性の等級 ・ 建具による

外部に面する建具の種類

A種 建具符号 ・ 建具表による
 B種 建具符号 ・ 建具表による
 C種 建具符号 ・ 建具表による
 D種 建具符号 ・ 建具表による
 E種 建具符号 ・ 建具表による

枠見込寸法 建具表による

防音ドア、防音サッシ
 遮音性の等級 建具表による
 遮音性の等級 建具表による
 遮音性の等級 建具表による

断熱ドア、断熱サッシ[G]
 断熱性の等級 建具表による

材料
 ステンレス鋼板 SUS304, SUS430JIL又はSUS443JI
 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL

形状および仕上げ

表面処理
 外部に面する建具
 種類 ・ BB-1 ・ BB-2 (表14.2.1)
 着色 ・ 標準色 ・ 特注色
 屋内の建具
 種類 ・ BC-1 ・ BC-2 (表14.2.1)
 着色 ・ 標準色 ・ 特注色

結露水の処理方法 ・ 水貯め式 ・ 排水式

工法
 木切り、ぜん板 図示
 木下地の場合の内付け家具 ・ 適用しない ・ 適用する

4 網戸等 (16.2.3)

種類	材質	網径	網目
・ 防虫網	合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	0.25mm以上 ・	16メッシュ～18メッシュ
・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法 15mm

5 樹脂製建具 (16.2.5)(16.3.2)～(16.3.5)(表16.3.1)

性能値等

耐風圧性の等級 ・
 気密性の等級 ・
 水密性の等級 ・

外部に面する建具の種類

A種 建具符号 ・ 建具表による
 B種 建具符号 ・ 建具表による
 C種 建具符号 ・ 建具表による
 D種 建具符号 ・ 建具表による
 E種 建具符号 ・ 建具表による

防音ドア、防音サッシ
 遮音性の等級 T-1 ・ T-2
 遮音性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 断熱ドア、断熱サッシ[G]
 断熱性の等級 H-4 ・ H-5
 断熱性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 外部に面する建具の日射熱取得性の等級
 枠見込寸法 建具表による

材料
 ガラス 複層ガラス(組合せは建具表による)
 ステンレス製くつずり HL
 形状および仕上げ
 鋼板類の厚さ 標準仕様書表16.4.2による

使用箇所 建具表による

6 鋼製建具 (16.2.2)(16.4.2)～(16.4.4)(表16.4.2)

性能値等

簡易気密型ドアット 適用する
 建具符号 ・ 建具表による
 適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性
 耐風圧性の等級
 防音ドア、防音サッシ
 遮音性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 遮音性の等級 建具符号 [G]
 断熱ドア、断熱サッシ[G]
 断熱性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 断熱性の等級 建具符号

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
 ステンレス鋼板 SUS304, SUS430JIL又はSUS443JI
 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL

形状及び仕上げ
 鋼板類の厚さ 標準仕様書表16.4.2による
 使用箇所 建具表による

7 鋼製軽量建具 (16.2.2)(16.5.2)～(16.5.4)

性能値等

簡易気密型ドアット 適用する
 建具符号 ・ 建具表による
 適用しない

防音ドア、防音サッシ
 遮音性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 遮音性の等級 建具符号 [G]
 断熱ドア、断熱サッシ[G]
 断熱性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 断熱性の等級 建具符号

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
 鋼板 ・ 亜鉛めっき鋼板 ・ ニッケル被覆鋼板 ・ 鋳鋼板 ・ ステンレス鋼板
 ステンレス鋼板 ・ SUS304, SUS430JIL又はSUS443JI
 鋼板 ・ 縦小口包み板の性質
 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL

形状及び仕上げ
 鋼板類の厚さ(mm) 標準仕様書表16.5.1による
 使用箇所 建具表による

8 ステンレス製建具 (16.2.2)(16.4.2)(16.6.2)～(16.6.5)

性能値等

簡易気密型ドアット 適用する
 建具符号 ・ 建具表による
 適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性
 耐風圧性の等級
 防音ドア、防音サッシ
 遮音性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 遮音性の等級 建具符号 [G]
 断熱ドア、断熱サッシ[G]
 断熱性の等級 建具符号 ・ 建具表による
 断熱性の等級 建具符号

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料
 ステンレス鋼板 SUS304, SUS430JIL又はSUS443JI
 ステンレス製のくつずりの仕上げ HL

形状及び仕上げ
 表面仕上げ HL ・ 鏡面仕上げ
 工法 ステンレス鋼板の曲げ加工 普通曲げ ・ 角出し曲げ

9 木製建具 (16.7.2)～(16.7.4)

建具材の加工、組立時の含水率 A種
 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤の揮発性有機化合物(VOC)放散量 F☆☆☆☆

・ フラッシュ戸
 表面材の揮発性有機化合物(VOC)放散量等 標準仕様書表16.7.2(2)(f)(g)による

合板の種類	規格等	備考
・ 普通合板[G]	表面の樹種 表面の品質 接着の程度	広葉樹 1等 ・ 1類 ・ 2類
・ 天然木化粧合板[G]	樹種名 接着の程度	・ 1類 ・ 2類
・ 特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法 ・ プリント ・ ポリメチル化粧合板 ・ 圧縮化粧合板 接着の程度	・ 1類 ・ 2類
・ MDF[G]		

表面板の厚さ 表16.7.6による
 引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない

かまち戸
 かまち樹種
 鏡板樹種
 見込み寸法 36mm ・ 建具表による
 ふすま
 張りの種類 ・ 1類 ・ 2類
 上張り(押入等の裏側以外) ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又は和紙程度
 縁仕上 ・ 塗り縁 ・ 生地縁(蒔地) ・ 生地縁(和紙・塗り縁)

見込み寸法 19.5mm ・ 建具表による
 ・ 紙張り障子
 見込み寸法 30mm ・ 建具表による
 ・ 枠、くつずりの材料

10 建具用金物 (16.8.2)(16.8.3)(表16.8.1)～(表16.8.5)

金物の種類及び見え掛り部の材質等
 標準仕様書表16.8.2により適用は建具表による
 金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.2による
 樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.3による
 木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ 標準仕様書表16.8.4による
 木製建具に使用する戸車及びびねり 標準仕様書表16.8.5による

張り玉及びびねりヘッド、押板類、ルレットの取付位置 建具表による
 シリンドラ箱錠及びシリンドラ本締り錠(品質・性能、試験方法は別表による)
 カラー類(品質・性能、試験方法は別表による)

11 鍵 (16.8.4)

マスターキー ・ 製作する
 ・ プラントマスター ・ コンストラクション ・ 逆マスター
 ・ 製作しない

その他の鍵の製作本数 各室3本1組(室名札付き)
 鍵箱 有(鋼製市販品) ・ 無

12 自動ドア開閉装置 (16.9.2)(16.9.3)

戸の開閉方式 ・ 建具表による

引き戸用駆動装置
 性能値 標準仕様書表16.9.1による
 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
 ・ 以下による
 種類・開閉方式 :
 耐電圧 :
 温度上昇 :
 耐久性(サイクル) :
 防錆 :
 電源 :

車椅子使用者用便所出入口引き戸用駆動装置
 性能値 標準仕様書表16.9.2による
 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
 ・ 以下による
 耐電圧 :
 温度上昇 :
 耐久性(サイクル) :
 防錆 :
 電源 :

引き戸用検出装置
 性能値 標準仕様書表16.9.3による
 防錆 ・ 適用する ・ 適用しない
 ・ 以下による
 耐電圧 :
 温度上昇 :
 耐久性(サイクル) :
 防錆 :
 電源 :

引き戸用検出装置の種類(標準仕様書表16.9.4)
 ・ 建具表による
 ・ カメラ付の種類 ・ 無線式カメラ付 ・ 光線式カメラ付
 ・ 車椅子使用者用便所スライドの種類 ・ 大型押しボタン付 ・ 非接触付
 ・ 凍結防止措置 ・ 行う ・ 行わない

13 自閉式上吊り引戸装置 (16.10.3)(表16.10.1)

性能値等 標準仕様書表16.10.1による
 ・ 以下による
 手動開き力 :
 手動閉じ力 :
 閉じ速度の調整 :
 閉鎖区間 :
 閉鎖戻返し :
 耐衝撃性 :

14 重量シャッター (16.11.2)(16.11.3)

シャッターの種類 ・ 管理用シャッター ・ 外壁用防火シャッター ・ 屋内用防火シャッター ・ 防煙シャッター
 外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度(pa)
 開閉方式の種類 電動式(手動併用) ・ 手動式
 安全装置
 電動式シャッターの急降下制御装置、急降下停止装置
 設置箇所 建具表による
 電動式シャッターの障害物監視装置 設置箇所 ・ 建具表による
 ・ 設けない

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置 設置箇所 ・ 建具表による
 ・ 設けない

管理用シャッターのシャッターボックス 設ける ・ 設けない
 フラット及びシャッターボックス用鋼板
 鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
 ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)
 めっきの付着量 Z12またはF12
 仕入れ、まぐさ、雨掛かりに用いる座板及び座板カバー、雨掛かりに用いるスリットタイプの蓋の材質
 ステンレス鋼板 標準仕様書表16.11.2

15 軽量シャッター (16.12.2)(16.12.3)(16.12.4)

開閉方式の種類 手動式 ・ 電動式(手動併用)
 耐風圧強度(pa) ・
 安全装置
 電動シャッターの障害物感知装置
 設置箇所 建具表による
 スリットの材質の種類 ・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
 めっきの付着量 Z06またはF06
 ・ JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)
 めっきの付着量 AZ00
 ・ インターロック形 ・ ノンパッド形

スリットの形状

16 オーバーヘッドドア (16.13.2)(16.13.3)

シャッター材料による区分	風圧力による強さの区分	開閉方式による区分	取納形式による区分	シャッターの材料
・ フライバック ・ アニマルバック ・ フライバックガラスタイプ	・ 50 ・ 75 ・ 100 ・ 125	・ ペダル式 ・ チェーン式 ・ 電動式	・ スラット形 ・ ロケット形 ・ ベイ形 ・ ベーゼル形	・ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ ステンレス鋼板

電動式シャッターの障害物感知装置 設ける
 設置箇所 ・ 建具表による
 ・ 設けない

17 ガラス (9.7)(16.14.2)～(16.14.4)(図16.14.1)

・ フォトリソグラフィの品種及び厚さの呼びによる種類 建具表による
 ・ 型板ガラスの厚さによる種類 建具表による
 ・ 網入板ガラス及び網入り板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 建具表による
 ・ 合わせガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ 建具表による
 落下衝撃はく離特性並びにシットレック衝撃特性による種類
 ・ Ⅰ類 ・ Ⅱ-Ⅰ類 ・ Ⅱ-2類 ・ Ⅲ類
 ・ 強化ガラス
 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 建具表による
 破片の状態及びシットレック衝撃特性による種類
 ・ Ⅰ類 ・ Ⅲ類
 ・ 熱線吸収板ガラス
 板ガラスによる種類、厚さによる種類 建具表による
 性能による種類
 ・ 1種 ・ 2種
 ・ 複層ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ 建具表による
 断熱性による区分 T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6
 日射取得性、日射遮蔽性による区分 G ・ S
 乾燥気体の種類 ・ 空気 ・ フロン
 ・ 熱線反射ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 建具表による
 日射遮蔽性による区分 1種 ・ 2種 ・ 3種
 耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合) A類 ・ B類
 ・ 倍強化ガラス
 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 建具表による

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2)(表9.7.1)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
・ フライバック製 ・ アニマル製	・ シーリング材 ・ グレインディング材	・ 建具の製造所の仕様による ・
鋼製及び鋼製軽量	・ シーリング材	・ 建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・ シーリング材	・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・ グレインディング材	・ 建具の製造所の仕様による ・

耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

18 ガラスブロック (16.14.5)

呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調	目地幅(mm)	伸縮調整目地位置(mm)	防火性能
・ 100×100	・ 95				
・ 200×200	・ 95				

兼用金属枠及び補強材 図示
 力荷
 材質 ステンレス鋼 (SUS304)
 寸法 径5.5mm
 形状 はしご形状複層及び単層
 色調 目地色は白、白、グレー
 シーリングの種類 ・ SR-1 ・ PS-1
 金属製化粧カバー
 材質 ・ ステンレス製 ・ フライバック製
 寸法 図示
 形状 図示

木下地の場合のフック等の取り付け開閉 図示
 目地部の横力骨の納まり 図示
 工法 1号 適用区分による風圧力の(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

19 ガラス用フィルム

種類	記号		性能等
	内貼り用	外貼り用	
・ 日射調整フィルム	・ SC-1	・ SC-2	日射遮蔽性能による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D ・ E
・ 低放射フィルム	・ LE		熱貫流率による区分 ・ A ・ B ・ C ・ D
・ 衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GI-1	・ GI-2	
・ 相関劣化破壊対応ガラス飛散防止フィルム	・ GD-1	・ GD-1	
・ ガラス透過防止フィルム	・ SF		

品質 JIS A 5759Iによる。

17章 カーテンウォール工事 (17.1.3)

1 取付方法、性能等 (17.1.3)

取付け形態による分類
 ・ 層間方式 ・ 柱、梁方式 ・ 方位方式 ・ スパン方式

性能

水密性	気密性	遮音性	断熱性	耐火性	耐温度差性(℃)
				・ 30分	・ 80
				・ 1時間	・ 70
					・ 60

耐風圧性 1号 適用区分による風圧力(1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法
 主要部材の耐風圧性能(ガラスを除く)
 支点間距離(h)
 4m以下
 ・ たわみ量が±(1/150)×hかつ絶対量20mm以下であること
 4mを超える
 ・
 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
 性能の確認方法及び判定方法
 ・ 性能の確認及び判定方法が確認できる資料を提出し、監督職員の承諾を受ける

20章 断熱・防露、ユニットおよびその他工事

1 断熱・防露工事

材料
断熱材の単位放出量
断熱材の種類
分類
断熱材の種類
現場発泡断熱材
断熱材現場発泡工法
断熱材の種類
断熱材の厚さ
断熱材の施工箇所
断熱材の気密材
断熱材及び防露層の施工
各部位の工法

2 サイディング工事

窯業系サイディング工事
種類
形状
有効幅
長さ
厚さ
表面材
耐火性能
断熱性能
サイディングの種類
サイディングの施工
サイディングの現場塗装

3 ALON® (薄型ALC) 工事

薄型ALCの区分
形状による区分
表面加工の有無による区分
厚さ
幅
長さ
ALON®の種類
ALON®の施工

20章-2 ユニット及びその他工事 (その2)

1 フリーアクセスフロア

Table with columns: 施工箇所, 工法, 寸法, 高さ, 耐震性能, 所定荷重, 表面仕上材, 備考

寸法精度
標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)~(c)による
以下による
帯電防止性能
感電防止性能

2 可動間仕切

Table with columns: 構造形式による種類, 構成基材の種類, 仕様, 遮音性, 防火性能

可動間仕切の取付け
可動間仕切の取付け
可動間仕切の取付け

3 移動間仕切

Table with columns: 走行方向, 操作方法による種類, 仕様, 遮音性

移動間仕切の取付け
移動間仕切の取付け
移動間仕切の取付け

4 トイレブース

Table with columns: 表面材の種類, 脚部の種類, トイレの材質

6 手すり

手すりの種類及び仕上げ
材料の種類及び仕上げ
手すりの取り付け

6 階段滑り止め

階段滑り止めの種類
階段滑り止めの形状
階段滑り止めの取付け

7 黒板及びホワイトボード

黒板の種類
黒板の区分
黒板の施工

8 鏡

鏡の取付け
鏡の寸法
鏡の厚さ

9 表示

表示の種類
表示の設置場所
表示の形状・寸法
表示の材質

誘導標識、非常用出入口等の表示
消防法に適合する市販品

10 タラップ

材質及び仕上げ
タラップの種類
タラップの寸法

11 煙突ライニング

煙突ライニングの種類
煙突ライニングの寸法

12 ブラインド

Table with columns: 形式, 操作方法, 操作方法的の種類, スラットの種類, スラットの寸法, ブラインドの材質, 幅・高さ・取付箇所

ブラインドの取付け
ブラインドの取付け

13 ロールスクリーン

Table with columns: 操作方法, スクリンの材質, その他の材料, 幅・高さ・取付箇所, 品質

14 カーテン

Table with columns: 形式, 開閉操作, ひだの種類, 生地の種類・品質・特殊加工等, 取付箇所, 備考

15 カーテンレール

カーテンレールの種類
カーテンレールの寸法

16 プラントボックス及びベンチボックス

ボックスの種類
ボックスの寸法
ボックスの材質

17 天井点検口

Table with columns: 材質, 寸法, 形式, 耐火性能, 防水性能, 備考

18 床点検口

Table with columns: 材質, 寸法, 形式, 備考

19 耐震シフト

Table with columns: 方向, 幅, シフト, 耐火性能, 防水性能, 備考

20 止水板

止水板の種類
止水板の寸法

21 エキスパンションジョイント金物

エキスパンションジョイント金物の種類
エキスパンションジョイント金物の寸法

22 くつきマット

Table with columns: 材質, 受け枠, 備考

23 流し台ユニット

Table with columns: 材質, 寸法, 備考

24 旗竿

Table with columns: 材質, 形式, 高さ, 操作方法, 固定方法, 備考

25 旗竿受金物

旗竿受金物の種類
旗竿受金物の寸法

26 車止めさく

Table with columns: 形式, 材質, 径・肉厚, 高さ

27 フェンス

フェンスの種類
フェンスの寸法

28 プレキャストコンクリート

プレキャストコンクリートの種類
プレキャストコンクリートの寸法

29 間知石及びコンクリート間知ブロック積み

Table with columns: 種類, 種類, 質量区分, 備考

30 鋼製書架及び物品棚

Table with columns: 種類, 規格等, JISによる種類

31 屋内掲示板

掲示板の種類
掲示板の寸法

32 洗面カウンター

洗面カウンターの種類
洗面カウンターの寸法

33 防煙垂れ壁

Table with columns: 種類, 材質, 高さ, 備考

34 屋外掲示板

屋外掲示板の種類
屋外掲示板の寸法

35 収納家具

収納家具の種類
収納家具の寸法

21章 排水工事 (21. 2. 1) (21. 2. 2) (表21. 2. 1) (表21. 2. 2)

1 屋外雨水排水

材料	材種	管の種類	形状	呼び径	備考
材料	遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管 (1種)	B形管	図示	
	硬質ポリ塩化ビニール管	RP-VP[G] RS-VU[G] VP VU		図示	
	基礎の厚さ及び種類				図示
	硬質ポリ塩化ビニール管の継手に用いる材料				接着剤
	側溝の形状及び寸法				図示

排水柵の種類
砂地業に用いる材料
砂利地業に用いる材料
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm²)
スラブ(cm)
現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
排水柵が現場打の場合の足掛金物
標準仕様書21.2.2(6)(7)
材質
凍上抑制層に用いる材料
砂を用いる場合の粒度試験

埋戻し用材料

2 鉄製ふた (21. 2. 1)

名称	種類	適用荷重	鍵	備考
時鉄製 円形ふた	水封形 簡易密閉形(パッキン式) 密閉形(グーパッキン式) 中ふた付き密閉形(グーパッキン式)	T-2用 T-6用 T-20用	有り 無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による

3 グレーティング (21. 2. 1)

材質	形式	用途	適用荷重	目目 寸法	垂鉛めつき (付着量)	上面形状
鋼製	受枠付き、 おし固定	溝ふた (横断用) 溝ふた (側溝用) 樹ふた用 U字溝用	歩行用 T-2用 T-6用 T-14用 T-20用	細目 ()	()	凹凸形 平形
ステンレス製	受枠付き、 おし固定	溝ふた (横断用) 溝ふた (側溝用) 樹ふた用 U字溝用	歩行用 T-2用 T-6用 T-14用 T-20用	細目 ()	()	凹凸形 平形

(品質・性能、試験方法は別表による)

4 街きよ、縁石及び側溝 (21. 3. 1) (21. 3. 2) (表21. 3. 1)

種類	形状、寸法
縁石	図示
L形側溝	図示
U形側溝	図示
U形側溝ふた	図示

地業の材料
砂利地業に用いる材料
砂利地業の厚さ(mm)
現場打ちの場合のコンクリート材料
設計基準強度(N/mm²)
スラブ(cm)
現場打ちの場合の鉄筋
種類の記号
凍上抑制層に用いる材料
砂を用いる場合の粒度試験

5 埋戻し土 (21. 2. 1)

22章 舗装工事 (22. 2. 2) (22. 2. 3) (22. 2. 4) (22. 2. 5) (表22. 2. 1)

1 路床

種別	材料	厚さ(mm)
盛土	A種 B種 C種 D種 建設汚泥から再生した処理土[G]	図示
凍上抑制層	再生アスファルト[G] クッション材 切込み砂利 砂(標準仕様書表21.2.2による)	図示
フィラー層	標準仕様書22.2.3(3)	図示

(凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験)

安定処理の方法
安定処理の方法
路床安定化処理用添加材料
種類
普通ポリアクリルセメント
高収縮性B種
アクリルセメントB種
生石灰
消石灰
添加量(kg/m³)
シフト係数
単位面積質量(g/m²)
厚さ(mm)
引張強さ
透水係数
試験
路床土の支持力比(CBR)試験
路床締固め度の試験
現場CBR試験

2 路盤 (22. 3. 2) (22. 3. 3) (表22. 3. 1)

路盤の厚さ
路盤材料(標準仕様書表22.3.1による種別)

3 アスファルト舗装 (22. 4. 2) ~ (22. 4. 6) (表22. 4. 4)

アスファルト舗装の構成及び厚さ

材料

アスファルト
再生アスファルト[G]
標準仕様書表22.4.1による種別
骨材
加熱アスファルト混合物等の種類
舗装の平坦性
試験

4 コンクリート舗装 (22. 5. 2) ~ (22. 5. 4) (22. 5. 6) (表22. 5. 1) (表22. 5. 3)

コンクリート舗装の構成及び厚さ

舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場 歩行者用通路	図示 図示	図示 70

材料

コンクリート
普通コンクリート、標準仕様書表22.5.1による
以下による
コンクリートの種類
設計基準強度(N/mm²)
所定のスラブ(cm)
粗骨材の最大寸法(mm)
早強ポリアクリルセメント
注入目地材料
目地
舗装の平坦性

5 カラー舗装 (22. 6. 2) (22. 6. 3) (22. 6. 4)

加熱系カラー舗装
構成・厚さ
加熱系混合物の割合

6 透水性アスファルト舗装 (22. 7. 2) (22. 7. 3) (22. 7. 6)

舗装の構成
材料

骨材
道路用砕石
アスファルトコンクリート再生骨材[G]
標準仕様書表22.4.1による種別
舗装の平坦性
試験
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験

7 ブロック系舗装 (22. 8. 2) (22. 8. 3)

コンクリート平板舗装[G]

種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	目地材	備考
普通平板(N) 透水性平板(P) 保水性平板(M)	300角	60	砂 セメント	表面加工 研ぎ出し 洗い出し たたき出し

クッション材
普通平板は[G](再生材料を用いた舗装用ブロック)、透水性平板は[G](透水性コンクリート)とする。
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。

種類	部位	形状・寸法	厚さ(mm)	曲げ強度(N/mm ²)	備考
普通ブロック(N) 透水性ブロック(P) 保水性ブロック(M)	車路	図示	80	5.0	表面加工 研ぎ出し 洗い出し たたき出し
普通ブロック(N) 透水性ブロック(P) 保水性ブロック(M)	歩行者用通路	図示	60	3.0	表面加工 研ぎ出し 洗い出し たたき出し

クッション材
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。

舗石舗装

種類	形状・寸法(mm)	厚さ(mm)	貼り方	基層	基層の厚さ(mm)
小舗石(花こころ岩)	割石	80	うろこ張り	コンクリート舗装 アスファルト舗装	70 50

クッション材
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。
歩行者用通路に使用する普通ブロックは[G](再生材を用いた舗装用ブロック)、透水性ブロックは[G](透水性コンクリート)とする。

8 砂利敷き (22. 9. 2)

種類
A種 (施工範囲)
B種 (施工範囲)

9 路面表示用塗料 (22. 9. 2)

種類	施工	適用	色	幅(mm)	塗布厚さ(mm)
3種1号	溶融	粉体状	白	150	1.0
1種[G]	常温	液状		100	
2種[G]	加熱				

低揮発性有機溶剤型の路面標示用水性塗料[G]

23章 植栽及び屋上緑化工事 (23. 1. 3) (23. 2. 2) (23. 2. 4)

0 1 植栽地の確認等 (23. 1. 3)

土壌の水素イオン濃度指数(pH)試験
土壌の塩類当量(EC)の試験

0 2 植栽基盤の整備 (23. 2. 2) (23. 2. 4)

植栽の種類	工法	有効土層の厚さ(mm)	整備範囲	土壌改良材
樹木	A種 B種 C種 D種	樹高12m以上 100 ~ 120 ~ 150 樹高7m以上~12m未満 80 ~ 100 樹高3m以上~7m未満 60 ~ 80 樹高3m未満 50 ~ 60	葉張り部分 植栽部分 図示	適用する 適用しない
芝、地被類	B種	※20	植栽部分 図示	適用する 適用しない

植栽基盤の排水設備

0 3 植込み用土 (23. 2. 3)

現場発生土の良質土
客土

0 4 土壌改良材 (23. 2. 3)

種類及び指定量等
バーナ堆肥[G]
施工箇所
使用量(植栽基盤面積1㎡あたり)
汚泥発酵肥料(下水汚泥コンポスト)
施工箇所
使用量(植栽基盤面積1㎡あたり)
材料
金属材料を含む産業廃棄物に係る判定基準を定める省令の別表第1の基準に適合する原料を使用したもので、植栽試験の調査の結果、害が認められないものとする

0 5 樹木 (23. 3. 2)

樹種、寸法、株立数等

0 6 支柱 (23. 3. 2) (23. 3. 3)

支柱材
防蟻処理方法
形式

7 幹巻き用材料 (23. 3. 2)

材料

8 芝 (23. 4. 2) (23. 4. 3)

種類
芝張りの工法
法面

9 吹付けは種 (23. 4. 2)

種子の種類	発芽率	種子の量(g/m ²)	備考
洋芝類(採取後2年内)	発芽率80%以上		

10 地被類 (23. 4. 2)

樹種	コンテ径	単位面積当たりのコンテ数	芽立数

11 新植、芝等の枯保証、移植樹木の枯損措置 (23. 3. 4) (23. 3. 6) (23. 4. 7)

新植樹木(芝張り、吹付けは種及び地被類を含む)の枯損措置の期間
移植樹木の枯損措置を行う期間

12 屋上緑化[G] (23. 5. 2) ~ (23. 5. 4)

植栽基盤及び材料
屋上緑化システム
土壌層の厚さ
排水層
植込み用土
樹木、芝及び地被類の樹種又は種類、寸法、株立数等
引張り材、舗装材、水抜き管、マルチ材など
支柱

かん水装置

工法

浜名湖花博20周年記念事業
実行委員会(県部会)

(株)大瀧建築事務所

管理建築士 増田洋一
一級建築士登録 第276882号

2023/8/31

令和5年度
浜名湖ガーデンパーク東屋・日本庭園整備工事

9 / 9

A-10

【使用材料表 1】

<5. 2. 2>

JAS 1083-3 製材-第3部にに基づく目視等級区分構造用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 構造材の種類, 等級, 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 1083-4 製材-第4部にに基づく機械等級区分構造用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級 (曲げ性能), 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤゲ係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、JAS 1083-4 製材-第4部にに基づく機械等級区分構造用製材に定める品質の曲げ性能における等級の区分に準拠する。

JAS 1083-4 製材-第4部にに基づく機械等級区分構造用製材に定める曲げヤゲ係数の基準(等級と曲げヤゲ係数)
Table with columns: 等級, E50, E70, E90, E110, E130, E150

JAS 1083-6 製材-第6部にに基づく広葉樹製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級, 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

加工前に縦振動ヤゲ係数を測定する部材
対象部材：
県産木材の適用

無等級材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 寸法 (mm), 含水率 (%), 保存処理, 強度試験, 保存処理, 間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 区分, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

JAS 1083-5 製材-第5部にに基づく下地用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級 (材面の品質), 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

「集材材の日本農林規格」による構造用集成材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 強度等級 (曲げ性能), 材面の品質, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 保存処理, 間伐材等の適用

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名, 寸法 (mm), 化粧薄板の厚さ (mm), 見付け材面 (面数), 見付け材面の品質, 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく甲種枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 未乾燥材又は乾燥材の別, 保存処理, 材面の品質, 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく乙種枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 未乾燥材又は乾燥材の別, 保存処理, 材面の品質, 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づくMSR枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名又は樹種群, MSR等級 (曲げ強度性能), 寸法型式名 (mm), 未乾燥材又は乾燥材の別, 間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された枠組壁工法構造用製材及びMSR枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 区分, 等級, 寸法型式名 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく枠用たて継ぎ材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく甲種たて継ぎ材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく乙種たて継ぎ材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づくMSRたて継ぎ材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名又は樹種群, MSR等級 (曲げ強度性能), 寸法型式名 (mm), 間伐材等の適用

国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定されたたて継ぎ材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 区分, 等級, 寸法型式名 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 曲げ性能 (曲げヤゲ係数区分), 水平せん断区分, 保存処理, 間伐材等の適用

丸太材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 寸法 (mm), 含水率 (%), 末口径 (mm), 間伐材等の適用

木質接着成形軸材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 形状, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

木質複合軸材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 形状, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

木質断熱複合板 [G]
Table with columns: 施工箇所, 形状, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

木質接着複合板 [G]
Table with columns: 施工箇所, 形状, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

JAS 3079Iに基づく直交集成材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 強度等級 (曲げ性能), 種別, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 間伐材等の適用

「使用材料表 2」 <5. 2. 3>
構造用パーティクルボード [G]
Table with columns: 施工箇所, 表裏面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 耐水性による区分, 厚さ (mm), 間伐材等の適用

構造用MDF [G]
Table with columns: 施工箇所, 表裏面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 接着剤による区分, 厚さ (mm), 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 厚さ (mm), 接着の程度, 等級, 板面の品質, 曲げ性能 (強度等級), 防虫処理の適用, 単板の樹種名, 間伐材等の適用

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 厚さ (mm), 接着の程度, 単板の樹種名, 間伐材等の適用

JAS 0360Iに基づく構造用パネル [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 厚さ (mm), 曲げ性能 (等級), 間伐材等の適用

パーティクルボード [G]
Table with columns: 施工箇所, 表裏面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 耐水性による区分, 厚さ (mm), 間伐材等の適用

ハードファイバーグラス [G]
Table with columns: 施工箇所, 油、樹脂等の特殊処理, 表面の状態による区分, 曲げ強さによる区分, 難燃性による区分, 厚さ (mm), 間伐材等の適用

ペーパーセメント [G]
Table with columns: 施工箇所, 種類, 厚さ (mm), 備考

JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 曲げ性能 (曲げヤゲ係数区分), 水平せん断区分, 保存処理, 間伐材等の適用

国土交通大臣の認定を受けた壁倍率の数値を定められた構造用面材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名, 寸法 (mm), 含水率 (%), 間伐材等の適用

「集材材の日本農林規格」による構造用集成製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 強度等級 (曲げ性能), 材面の品質, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 保存処理, 間伐材等の適用

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 樹種名, 寸法 (mm), 化粧薄板の厚さ (mm), 見付け材面 (面数), 見付け材面の等級, 間伐材等の適用

JAS 0701Iに基づく構造用単板積層材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 品名, 接着性能 (使用環境), 樹種名, 寸法 (mm), 曲げ性能 (曲げヤゲ係数区分), 水平せん断区分, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 1083-3 製材-第3部にに基づく目視等級区分構造用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 構造材の種類, 等級, 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 1083-4 製材-第4部にに基づく機械等級区分構造用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級 (曲げ性能), 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

加工前に縦振動ヤゲ係数を測定する部材
対象部材：
県産木材の適用

無等級材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 寸法 (mm), 含水率 (%), 保存処理, 強度試験, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 1083-6 製材-第6部にに基づく広葉樹製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級, 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

加工前に縦振動ヤゲ係数を測定する部材
対象部材：
県産木材の適用

無等級材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 寸法 (mm), 含水率 (%), 保存処理, 強度試験, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 1083-5 製材-第5部にに基づく下地用製材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名, 等級 (材面の品質), 寸法 (mm), 含水率, 保存処理, 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく甲種枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 未乾燥材又は乾燥材の別, 保存処理, 材面の品質, 間伐材等の適用

JAS 0600Iに基づく乙種枠組材 [G]
Table with columns: 施工箇所, 樹種名又は樹種群, 寸法型式名 (mm), 未乾燥材又は乾燥材の別, 保存処理, 材面の品質, 間伐材等の適用

建築木造工事特記仕様書 別紙

I 一般事項

1 適用範囲

本仕様書別紙は建築物および工作物の構造上主要な部分に木材を用いる工事に適用する。
○は適用項目を示すものとする。

II 材料品質の検査方法

1 構造用木質材料

(1)現場または加工工場に搬入された構造用木質材料は、加工に先立ち下記の項目を確認し、その結果を監督職員に報告する。

木質材料	確認項目	確認の方法
・ 目視等級区分 構造用製材	樹種、種類、等級、含水率、寸法、保存処理、表面仕上げ	・ 製造工場の認定書などの写しの確認
・ 機械等級区分 構造用製材	樹種、等級、含水率、寸法、保存処理、表面仕上げ	・ JAS表示の確認 ・ JIS表示の確認
・ 枠組壁工法 構造用製材	樹種又は樹種群、寸法型式、等級、保存処理	・ 材面の確認
・ 枠組壁工法構造用 たて継ぎ材	樹種又は樹種群、寸法型式、等級	・ 寸法の確認 ・ 立会い目視検査(監督職員)
・ 構造用集成材	樹種、品名、強度等級、材面の品質、使用環境、 ※A747の放散量、寸法	
・ 構造用LVL	樹種、品名、曲げ性能、水平せん断性能、使用環境、 ※A747の放散量、寸法	
・ 直交集成板	樹種、品名、強度等級、種別、使用環境、 ※A747の放散量、寸法、反り、ねじれ	
・ 構造用合板	単板の樹種、品名、等級、接着の程度、板面の品質、 ※A747の放散量、寸法、反り、ねじれ	
・ 構造用 ^ハ ※	品名、等級、※A747の放散量、寸法、反り、 ねじれ	
・ 構造用 パーティクルボード	種類、曲げ強さによる区分、耐水性による区分、表裏面の 状態による区分、※A747の放散量、寸法、反り、ねじれ	
・ 構造用MDF	種類、曲げ強さによる区分、耐水性による区分、表裏面の 状態による区分、※A747の放散量、寸法、反り、ねじれ	

※ 必要性能を満たさない材料は使用しない
(2)検査数量は、1荷口あたり5部材若しくは10%程度を標準とする。

2 無等級製材

(1)現場または加工工場に搬入された無等級製材は、加工に先立ち下記の項目を確認し、その結果を監督職員に報告する。

施工箇所	樹種名	目視			含水率の測定		ヤグ係数		立会い 目視検査 (監督職員)	
		材種	外観	寸法	表示	全乾 重量法	含水率 計	表示		静的 試験
柱	桧	○	○	○			○			○
梁	杉	○	○	○			○			○
隅木	杉	○	○	○			○			○

注1：全乾重量法による含水率の測定およびヤグ係数の静的試験は1荷口(樹種、伐採地等が同じであれば1荷口)につき確認する試験本数を示す。
(2)樹種名は表示または出荷証明書等を確認し、外観・寸法の確認は日本農林規格に農林規格に準じて行う。
(3)含水率ヤグ係数は押印された表示の確認を原則とし、全乾重量法による含水率の測定およびヤグ係数の静的試験は公的試験場にて行う。
(4)含水率の測定(公財)日本住宅・木材技術センター認定品を、ヤグ係数の動的試験は全国木材連合会の認定品を用いて計測することを原則とする。
(5)全乾重量法による含水率の測定およびヤグ係数の静的試験の試験体は実際に使用する同一部材の中から抽出し、製材の日本農林規格に規定される曲げ試験に準ずる。
(6)ヤグ係数の動的試験結果の等級区分は、日本農林規格の構造用製材の機械等級区分に準じる。
(7)特記なき場合は、含水率計による測定は、製材加工後の工場出荷前に行う。
(8)特記なき場合は、動的試験は製材後(継手などの工場加工前)に行う。
(9)しずおか優良木材の検査は、認定書等の確認による。
(10)製造工場等において監督職員が材料検査を行う場合は、あらかじめ監督職員が指示する。
(11)検査数量は、1荷口あたり5部材若しくは10%程度を標準とする。
(12)監督職員の検査の結果、合格した材料と同じ種類の材料は以後原則として抽出検査とする。

3 接合具

(1)現場または加工工場に搬入された全ての接合具について、下記の項目を確認し、その結果を監督職員に報告する。
(2)設計図等で示された接合具であることを確認する。同等性能の接合具を用いる場合には、その製品の仕様書及び認定書を提出し、あらかじめ監督職員の承諾を得る。

接合具の種類	確認項目	確認方法				検査
		表示	鋼材規格 証	性能証 証	寸法等 等	
・ 釘	種類、鋼材種別(規格)、胴・頭部径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ 木ねじ、特殊ねじ	鋼材種別(規格)、径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ ぶし、ナット	鋼材種別(規格)、径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ フラッシュ	鋼材種別(規格)、径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ 座金	鋼材種別(規格)、形状、表面処理、外観	○			○	○
・ ドリルピン	鋼材種別、径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ フラッシュぶし	鋼材種別、径、長さ、表面処理、外観	○			○	○
・ プレナ	鋼材種別、径、形状、表面処理、外観	○			○	○
・						

(2)確認方法及び検査は下記により行う。
表示：JIS、Zn-メッキ、Cメッキ等規格品であることを示す梱包、刻印、出荷証明書など
鋼材証：メッキの写し
規格証：Zn-メッキ同等認定書、Cメッキ同等認定書
性能証：性能認定書、性能評価書、試験成績書など
寸法等：寸法などの計測
外観：外観の目視
検査：監督職員による立会い、目視

4 接合金具

(1)現場または加工工場に搬入された全ての接合金物について、下記の項目を確認し、その結果を監督職員に報告する。
(2)設計図等で示された接合金物であることを確認する。同等認定品や性能評価品を用いる場合には、その製品の仕様書及び認定書を提出し、あらかじめ監督職員の承諾を得る。

接合金物	確認項目	確認方法				検査
		表示	鋼材規格 証	性能証 証	寸法等 等	
・ アーカーボルト、座金	鋼材種別(規格)、径、長さ、形状、表面処理	○			○	○
・ Zn-メッキ金物	鋼材種別(規格)、形状、表面処理、製造所	○			○	○
・ Cメッキ金物	同上	○			○	○
・ xメッキ金物	同上	○			○	○
・ Dメッキ金物	同上	○			○	○
・ Sメッキ金物	同上	○			○	○
・ その他規格金物等；	同上	○			○	○
・ 製作金物、鋼材	鋼材種別(規格)、形状、表面処理、溶接	○			○	○

(3)確認方法及び検査は下記により行う。
表示：JIS、Zn-メッキ、Cメッキ、xメッキ規格品であることを示す梱包、刻印、出荷証明書など
鋼材証：メッキの写し
性能証：Dメッキ(同等認定金物)、Sメッキ(性能認定金物)であることを示す性能認定書、性能評価書、試験成績書など
寸法等：寸法などの計測
外観：外観の目視
検査表：工場社内検査表
検査：監督職員による立会い、目視

III 運搬・建方

1 輸送計画

製品の輸送に当たっては、建方計画に支障がないように、道路状況、現場作業手順等を考慮し十分な検討を行う。また、輸送時に製品の品質を損なわないようにする。
・ 輸送計画書の提出

2 集積・保管

集積の際は適当な受け台などを設け、材にねじれや曲がりの損傷を与えないように注意する。
降雪や降雨に対する保護としてシート養生を行う。ただし、シートの効いた室内は乾燥による割れが発生するため避ける。
・ 集積場の確認

3 建方計画

アーカーボルトの施工方法、建方ペース、建方機械、搬入・仕分け、地組み、足場計画、建方、養生、安全対策などについて検討し、建方計画書としてまとめる。
・ 建方計画書の提出

4 施工時の安全性

建方作業中および作業後、横架材上に諸材または機械などの重量物を積載する場合、あるいは柱に大きな引張力を与えるなどの場合は監督職員の承認を受ける。また、強風などによる諸外力に対しては、必要に応じて仮設補強等の処置を施す。
・ 施工時の安全性に対する検討書の提出
・ 施工時荷重条件の報告

5 アンカーボルトの施工

(1)芯出しは、型板を用いて基準墨に正しく合せて適切な機器等で正確に行う。
(2)アーカーボルトの保持は、型鋼などを用いるなどして正確に行い、コンクリート打設時に移動、下部の振れなどがないように固定する。
(3)アンカーボルトはダブルナットとする。
(4)土台の穴あけはコンクリート打設後、ボルトの通り芯からのずれを実測してから行う。

6 建方精度

(1)建方の精度基準は下記による。
建物の傾れ
 $e \leq H/1000$
 $()$
 梁の水平度(節点間のレベル差)
 $e \leq L/700 + 5mm$ かつ $e \leq 15mm$
 $()$
 建物の湾曲
 $e \leq L/2500mm$ かつ $e \leq 25mm$
 $()$
 柱据え付け面の高さ及びアーカーボルトの位置
 柱据え付け面の基準高さからの誤差
 $\pm 3mm$ 以下
 通り芯からの誤差
 $\pm 5mm$ かつ $\Delta H \leq +5mm$
 階高
 (2)建方精度に不具合が発生した場合は速やかに監督職員に報告し対応策を協議する。

7 施工状況の検査

(1)アンカーボルト施工時の立会い検査
・ 目視による精度確認
・ 計測機器による精度確認
・ アンカーボルト径、間隔
・ 施工者自主検査記録の提出
(2)地組み時の立会い検査
・ 目視による精度確認
・ 計測機器による精度確認
・ 材料の加工寸法検査
・ 施工者自主検査記録の提出
(3)建方時の立会い検査
・ 目視による精度確認
・ 計測機器による精度確認
・ 材料の加工寸法検査
・ 施工者自主検査記録の提出
(4)建方後の施工状況の検査
・ 防錆・防蟻処理
・ 材料の加工寸法検査
・ 接合具の施工状況
・ 接合金物の施工状況
・ その他：
・ 施工者自主検査記録の提出
(5)最終確認
工事中に発生するボルトの緩み、接合具および接合金物に影響する材の割れ、接着面のはがれ等に注意を払い、不具合が発生した場合は是正する。補強の必要がある場合は速やかに監督職員に報告し対応策を協議する。
・ 施工者自主検査記録の提出

施工条件特記仕様書				明示項目		適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容							
<p>下記項目のうち適用項目○印該当欄は、当該工事に関する施工条件として明示するものである。 なお、明示事項に変更が生じた場合は、監督職員に報告し、協議するものとする。</p>																		
1 工程関係	1	関連工事との調整	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分			仮設備 (仮土留、仮橋、足場等)	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の内容									
				影響を受ける工事内容					仮設備の期間									
				関連する工事内容					仮設備の条件									
				関連する工事の開始又は完了の時期					仮設備の種類		工事特記仕様書、図示による。							
	2	施工時期、時間の制限	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容		○	○	仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合	仮設備の種類		工事特記仕様書、図示による。							
				制限される施工時期・施工時間					仮設備の構造、施工方法、施工範囲		図示による。							
				制限される施工方法					仮設備の設計条件を指定する場合		図示による。							
	3	関係機関等との協議	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容				建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合		受入場所及び仮置き場所までの距離		工事特記仕様書による。					
				協議内容					処分又は保管条件		工事特記仕様書による。							
			関係機関、自治体等との協議の結果、特定の条件が付され当該工事の工程に影響がある場合	影響を受ける部分				建設副産物の利用	現場内での再利用又は減量化が必要な場合		現場内利用の内容							
				影響を受ける内容					減量化の内容									
4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目				建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合		処理方法、処理場所等の処理条件		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。						
			調査期間					再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合		受入場所、距離等の処理条件		建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等		
		地下埋設物等の移設が予定されている場合	移設期間															
5	作業不能日数		休日日数以外の作業不能日数															
6	指定部分	○	工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合		当該工事の規模（範囲）		当該工事の工期		現場説明書による。									
7	設備工事との調整		完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合		試運転調整等の適正期間の確保		設備の試運転調整等を行ううえで、支障のない状態まで完了していること											
2 用地関係	1	仮用地等として官有地の提供	施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲				工事支障物件協議	地上、地下等における占有物件の有無及び占有物件等で工事支障物が存在する場合		支障物件名、管理者名等		支障物件名		管理者名		支障物件の位置	
				時間・時期					地上、地下等の占有物件に係る工事期間と重複して施工する場合		工事内容							
				使用条件							工事期間							
				復旧方法														
3 公害関係	1	公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	○	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間		※使用する建設機械の適用については工事特記仕様書による。											
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査	工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分		調査時期												
				未然に防止するための必要な調査方法		未然に防止するための必要な調査範囲												
	3	電波障害等に起因する事業損失防止調査	電波障害等に起因する事業損失が懸念される場合	事前・事後調査の区分		調査時期												
				未然に防止するための必要な調査方法		未然に防止するための必要な調査範囲												
4 安全対策関係	1	交通安全施設	交通安全施設等を指定する場合	指定の内容		指定の期間												
	2	近接施工	鉄道、ガス、電気、電話、水道等の施設と近接する工事において施工方法等に制限がある場合	制限される施工方法		制限される作業時間帯												
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設	落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容														
	4	交通誘導員の配置	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数	交通誘導警備員 A		交通誘導警備員 B											
			配置時間	交通誘導警備員 A	8時～17時まで（8時間）	交通誘導警備員 B	8時～17時まで（8時間）											
5	1	一般道の使用	搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路		制限される使用期間		制限される使用時間帯										
				搬入、搬出路の使用内容及び使用後の処置が必要である場合		使用中・使用後の処置内容												
6 仮設備関係	1	仮設備（仮土留、仮橋、足場等）	○	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の構造、工法及びその施工範囲を指定する場合		仮設備の種類		工事特記仕様書、図示による。									
					仮設備の設計条件を指定する場合		設計条件の内容		図示による。									
	7	建設副産物の搬出	建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離		工事特記仕様書による。												
				処分又は保管条件		工事特記仕様書による。												
				建設副産物の利用		現場内での再利用又は減量化が必要な場合		現場内利用の内容										
	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。												
				再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合		受入場所、距離等の処理条件		建設廃棄物の種類	数量	処理等施設の名称	片道運搬距離	受入条件等						
	8 工事支障物件等	1	工事支障物件協議	○	地上、地下等における占有物件の有無及び占有物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等		支障物件名		管理者名		支障物件の位置						
						支障物件の移設時期		工事方法		防護								
9 排水関係	1	排水処理	○	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等		排水工法		排水処理の方法		放流先							
							予定される排水量		排水の水質基準		放流費用							
2	水替・流入防止施設	水替・流入防止施設が必要な場合	施設の内容		設置期間													
10 薬液注入関係	1	薬液注入	○	薬液注入を行う場合	設計条件、施工工法等		設計条件		施工工法		材料種類							
					周辺環境に与える影響の調査が必要な場合		周辺環境調査の内容											
11 その他	1	工事現場発生品	○	工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無引渡場所													
	2	支給品及び貸与品	支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質		規格又は性能		引渡場所・引渡期間										
	3	関係機関との近接協議		近接協議に係る条件及び内容														
	4	架設工法	架設工法を指定する場合	架設工法		施工条件												
5	工事用水、電力	○	○	工事用水を指定する場合	工事用水の内容		工事特記仕様書による。											
					工事電力を指定する場合		工事電力の内容		工事特記仕様書による。									
6	新技術・新工法・特許工法	○	○	新技術・新工法・特許工法を指定する場合	工法の内容													
7	部分使用	○	○	部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所		部分使用時期											



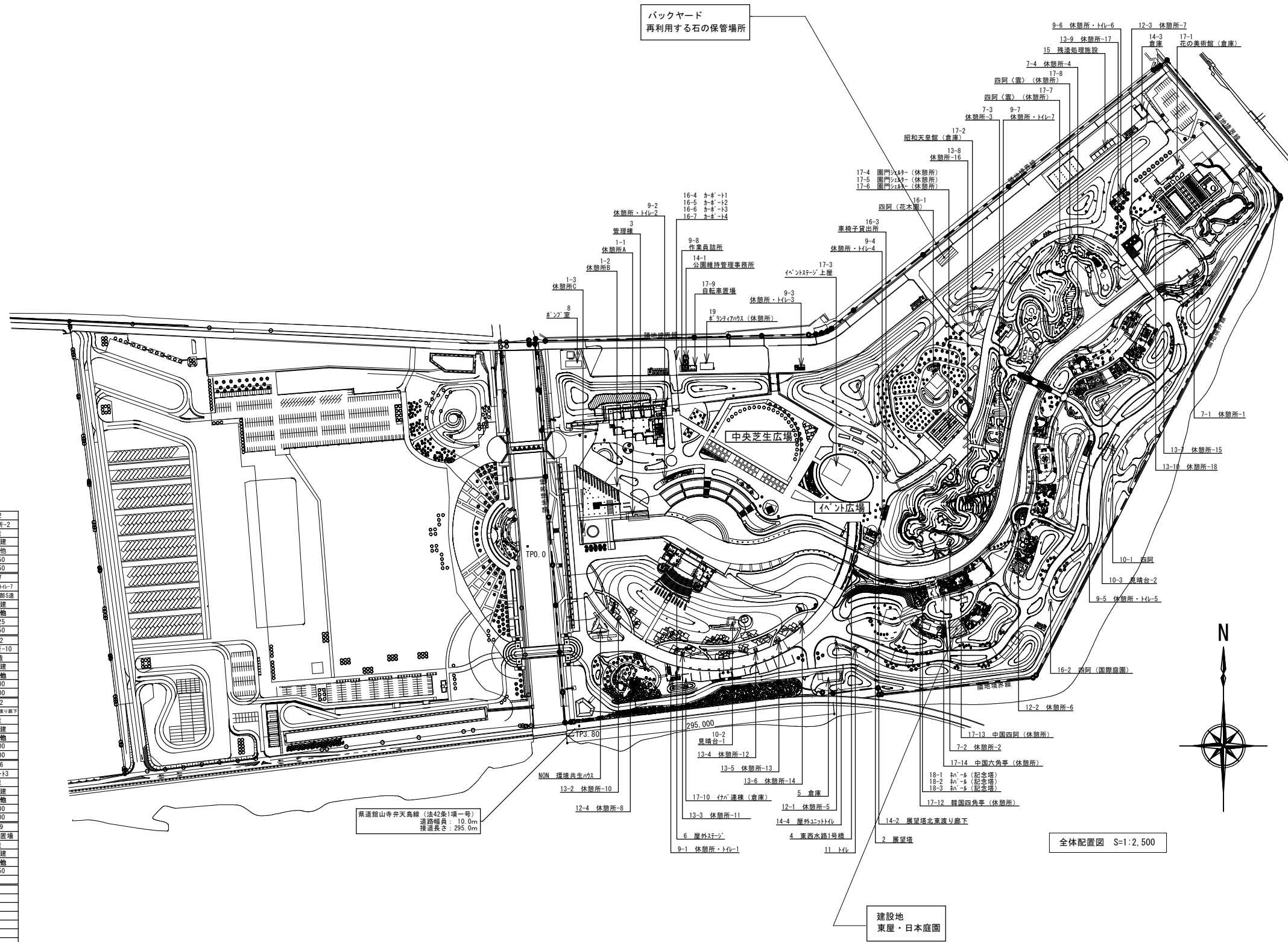
計画地

案内図

設計番号	特記	令和5年度	工事名 浜名湖ガーデンパーク東屋・日本庭園整備工事	図面名 案内図	設計年月日 令和5年8月	承認 増田	担当 増田	製図 増田	 株大瀧建築事務所 一級建築事務所登録 静岡県知事登録 第3873号 静岡市駿河区馬淵4丁目1番7号 TEL.(054)286-4577(代) FAX.(054)283-2692	管理建築士 1級建築士登録第276882号 増田 洋一	図面番号 A-15
------	----	-------	------------------------------	------------	-----------------	----------	----------	----------	---	-----------------------------------	--------------

【敷地概要】

所在地	静岡県浜松市西区村瀬町5457-1 外412筆
都市計画区域	内
区域区分	市街化調整区域
防火地域	指定なし
その他	第22条地域、静岡県自然公園普通地域、都市計画公園区域
全面道路幅員	10.00m
接道の長さ	295.0m
敷地面積	325,816.96㎡
容積率	200%
建ぺい率	70% (角地)



【建築物一覧】

建物番号	1-1	1-2	1-3	2	3	4	5	6	7-1	7-2
名称	休憩所A	休憩所B	休憩所C	展望塔	管理棟	東西水廻り棟	倉庫	屋外芝生	休憩所-1	休憩所-2
構造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	3階建	2階建	平屋建	平屋建	2階建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	準耐火 (F-1)	その他	その他	準耐火 (F-2)	その他	その他
最高の高さ (mm)	4,947	2,478	2,546	50,000	10,980	3,850	3,410	13,956	4,260	2,350
最高の軒高 (mm)	4,699	2,230	2,298	47,090	8,930	3,150	3,310	13,136	4,260	2,350

建物番号	7-3	7-4	8	9-1	9-2	9-3	9-4	9-5	9-6	9-7
名称	休憩所-3	休憩所-4	MP2室	休憩所-10-1	休憩所-10-2	休憩所-10-3	休憩所-10-4	休憩所-10-5	休憩所-10-6	休憩所-10-7
構造	S造	S造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	2,350	2,750	3,692	3,000	3,410	3,210	2,844	3,210	3,210	5,325
最高の軒高 (mm)	2,350	2,750	3,692	2,615	2,615	2,249	2,615	2,615	2,615	4,650

建物番号	9-8	10-1	10-2	10-3	11	12-1	12-2	12-3	12-4	13-2
名称	作業員用所	四阿	見守台-1	見守台-2	14-1	休憩所-5	休憩所-6	休憩所-7	休憩所-8	休憩所-10
構造	S造	S造	S造	S造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	3,500	2,985	6,390	6,390	3,980	3,180	3,000	5,000	5,246	3,300
最高の軒高 (mm)	3,100	2,765	6,180	6,200	2,500	2,920	2,900	3,500	4,008	2,100

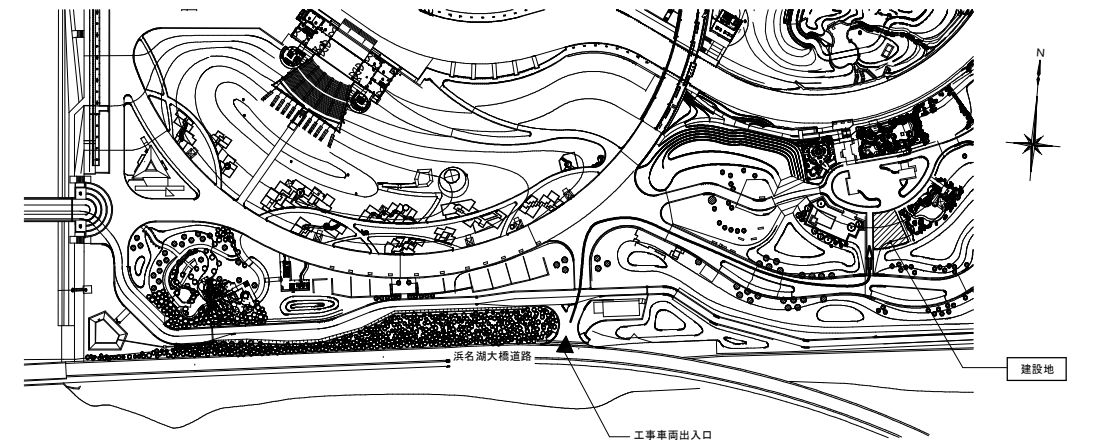
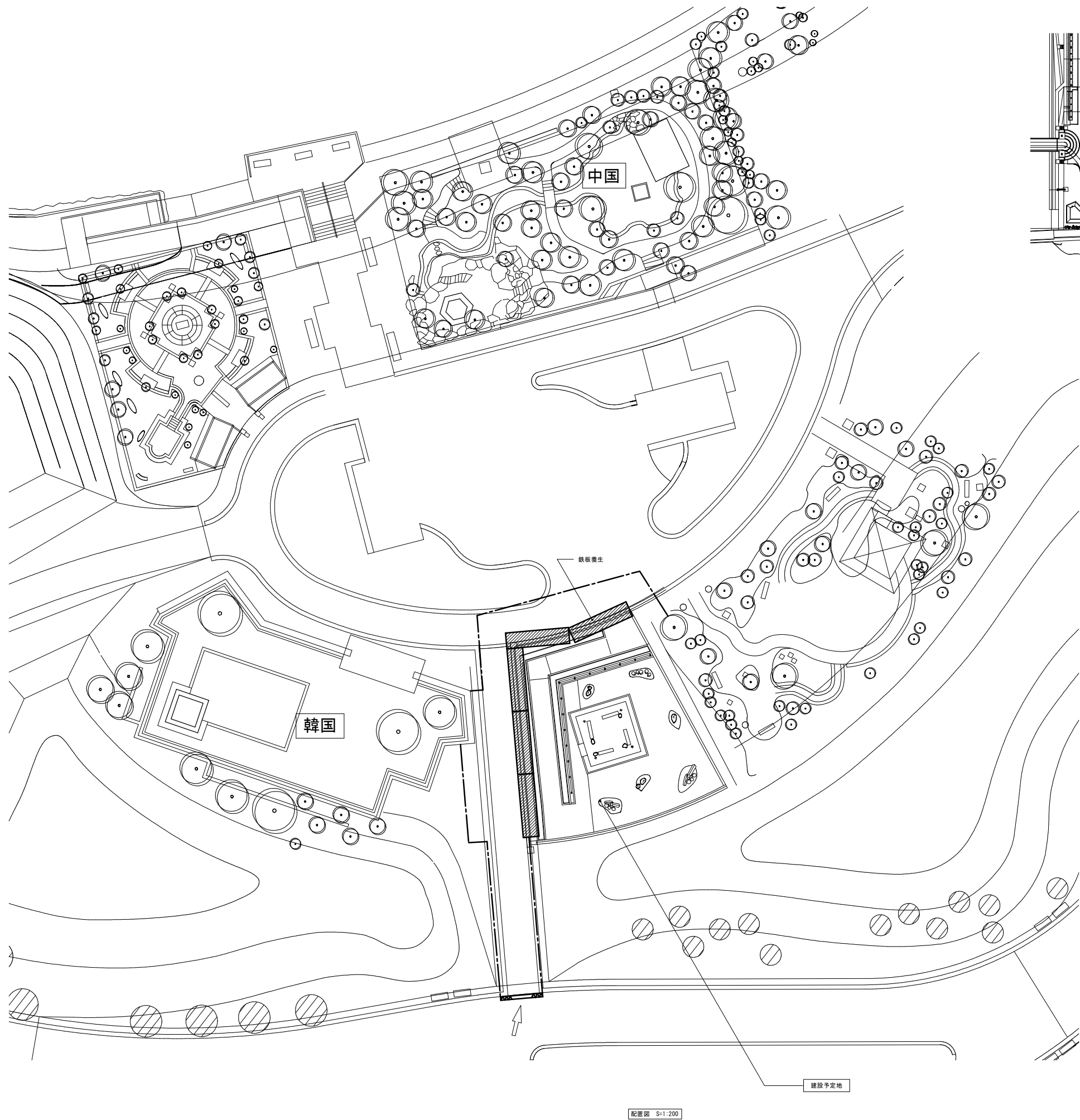
建物番号	13-3	13-4	13-5	13-6	13-7	13-8	13-9	13-10	14-1	14-2
名称	休憩所-11	休憩所-12	休憩所-13	休憩所-14	休憩所-15	休憩所-16	休憩所-17	休憩所-18	公園維持管理事務所	公園維持管理事務所
構造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	3,300	4,550	3,300
最高の軒高 (mm)	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	2,100	4,050	3,300

建物番号	14-3	14-4	NON	15	16-1	16-2	16-3	16-4	16-5	16-6
名称	倉庫	屋外芝生広場	展望塔	展望塔	四阿 (花水園)	四阿 (花水園)	車椅子貸出所	カキト	カキト	カキト
構造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造	S造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	4,500	2,530	8,763	4,780	3,300	3,300	3,580	2,900	2,900	2,900
最高の軒高 (mm)	3,700	2,330	3,100	4,500	2,700	2,700	2,900	2,500	2,500	2,500

建物番号	16-7	17-1	17-2	17-3	17-4	17-5	17-6	17-7	17-8	17-9
名称	カキト	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)
構造	S造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造	RC造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	2,900	9,495	6,100	8,900	2,675	2,675	2,675	3,011	3,011	2,350
最高の軒高 (mm)	2,500	7,300	5,615	8,208	2,538	2,538	2,538	—	—	—

建物番号	17-10	17-11	17-12	17-13	17-14	19
名称	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)	花の美術館 (倉庫)
構造	S造	S造	S造	S造	S造	S造
階数	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建	平屋建
耐火建築物等	その他	その他	その他	その他	その他	その他
最高の高さ (mm)	2,080	5,292	4,560	4,550	3,960	—
最高の軒高 (mm)	—	3,040	3,100	3,000	3,770	—

全体配置図 S:1:2,500



工事車両進入路配置図 S=1:2000

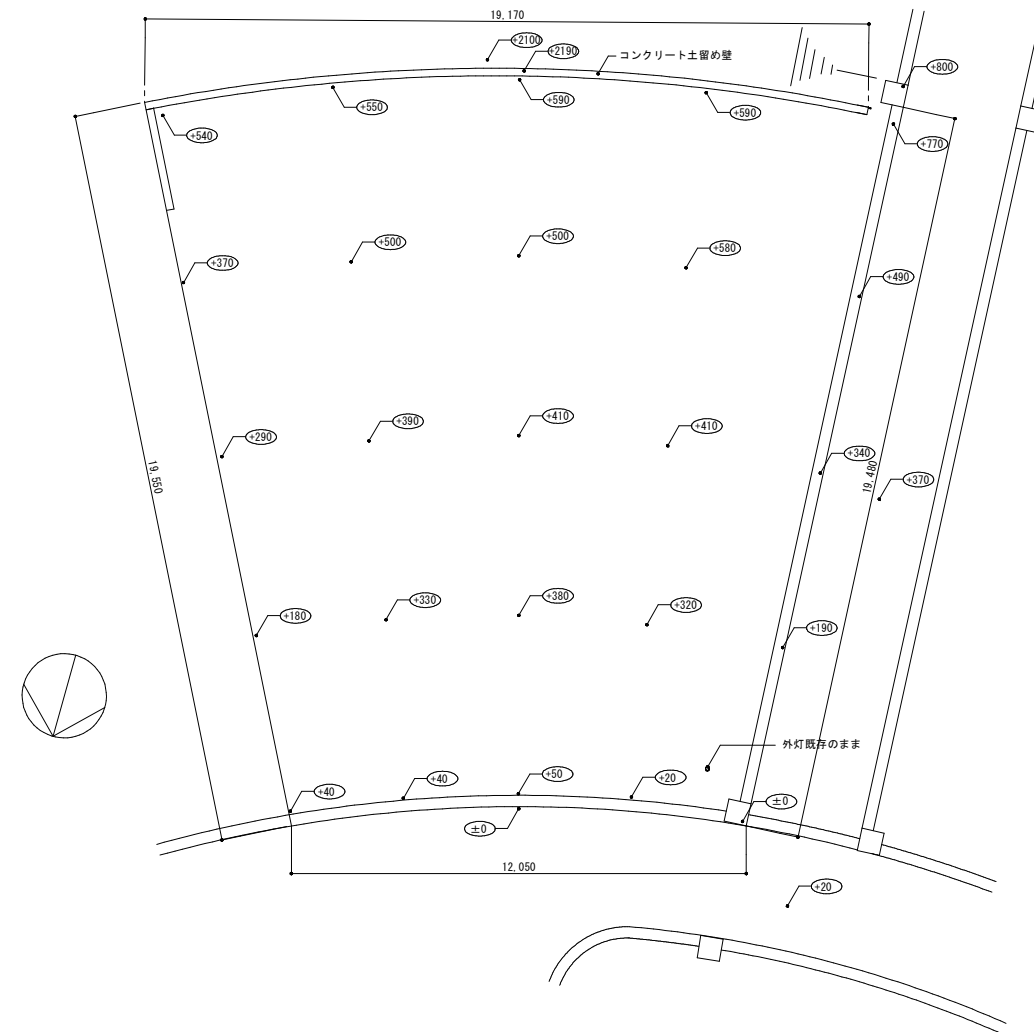


凡例

	仮囲い 鋼板製 H=2.0m
	クロスゲート W=4.0m H=2.0m
	工事車両出入口を示す。

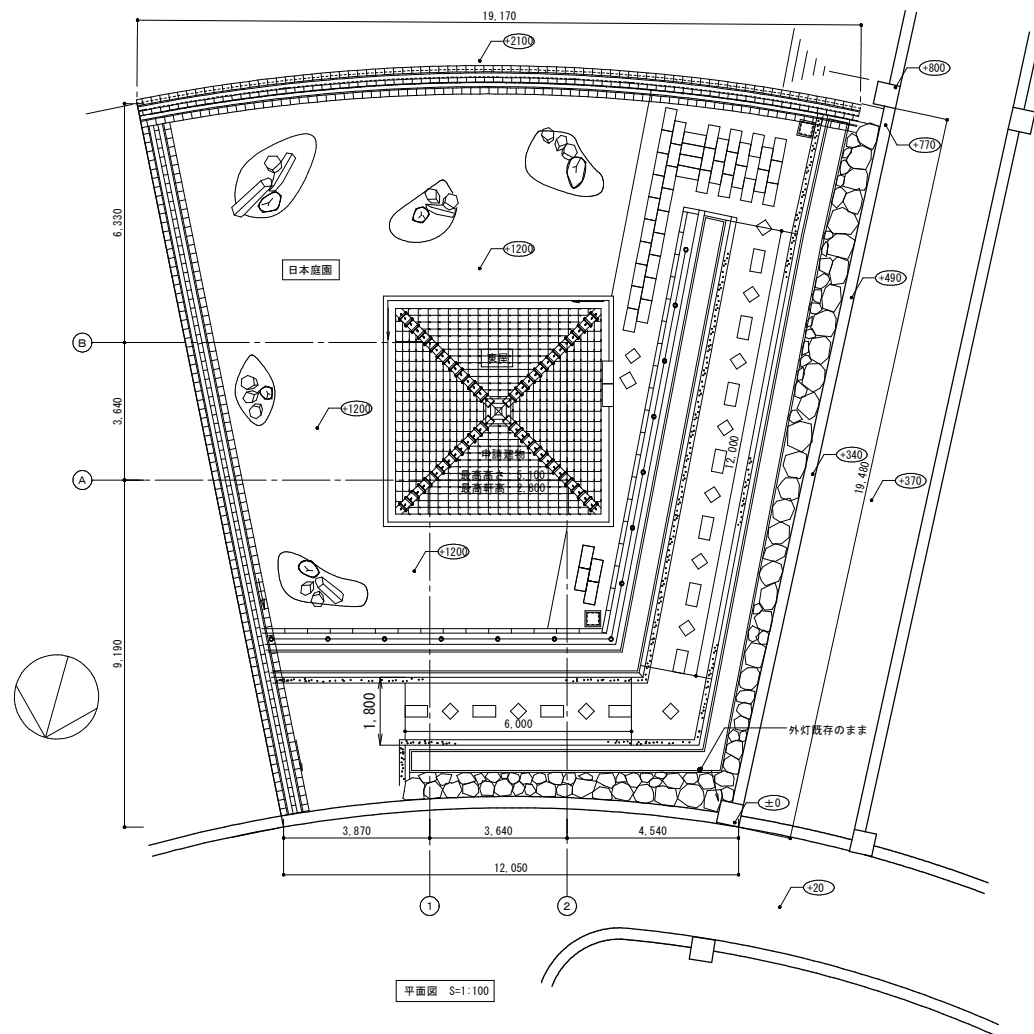


現況断面図 S=1:100



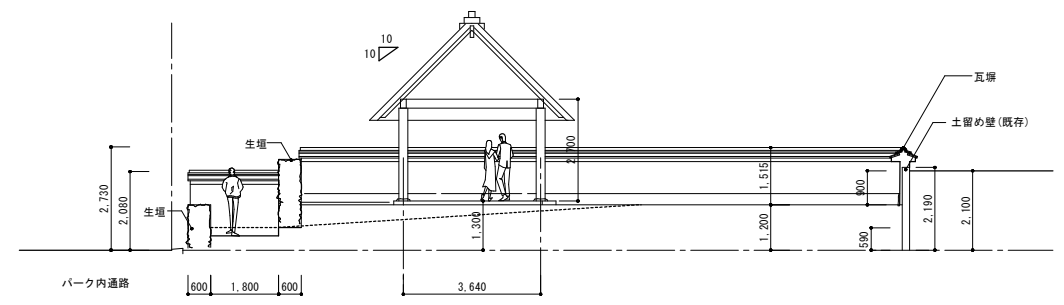
±0=設計GLとする。
 設計GL=TP(標高)2,700
 平均GL=設計GL+1200(TP3,900)
 (***): 設計GLからの高さを示す。

現況平面図 S=1:100

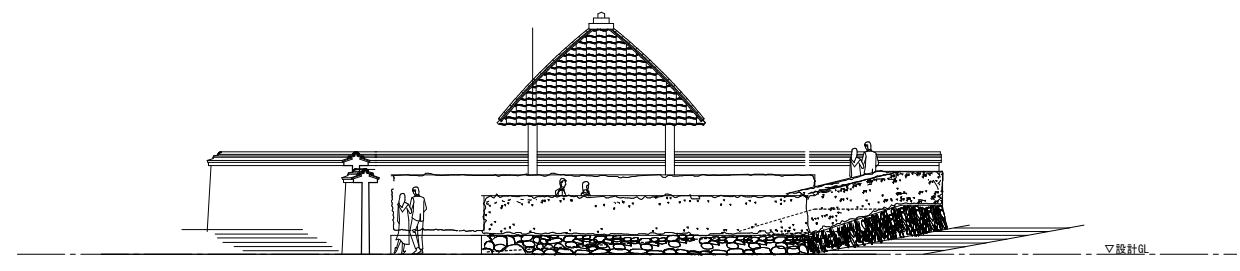


平面図 S=1:100

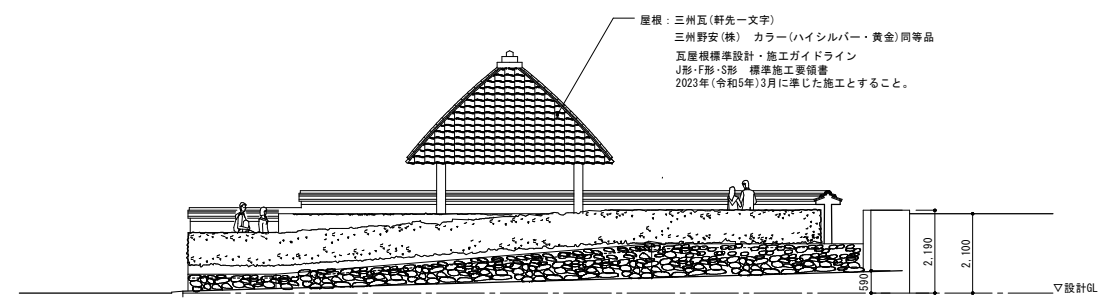
±0=設計値とする。
 設計値=TP(標高)2.700
 平均値=設計値+1200(TP3.900)
 (***): 設計値からの高さを示す。



断面図 S=1:100

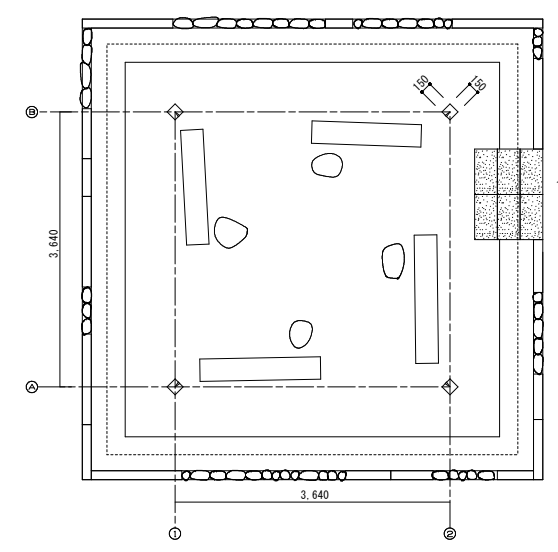


北側立面図 S=1:100



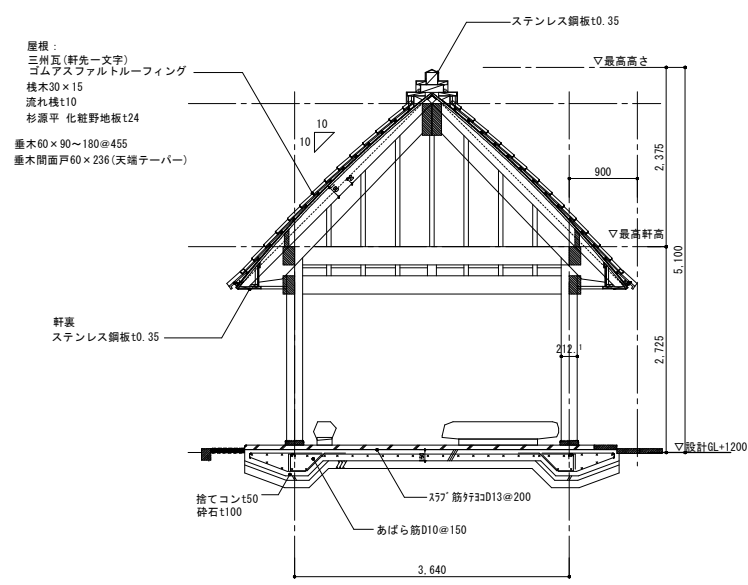
西側立面図 S=1:100

屋根: 三州瓦(軒先一文字)
 三州野安(株) カラー(ハイシルバー・黄金)同等品
 瓦屋根標準設計・施工ガイドライン
 J形・F形・S形 標準施工要領書
 2023年(令和5年)3月に準じた施工とすること。

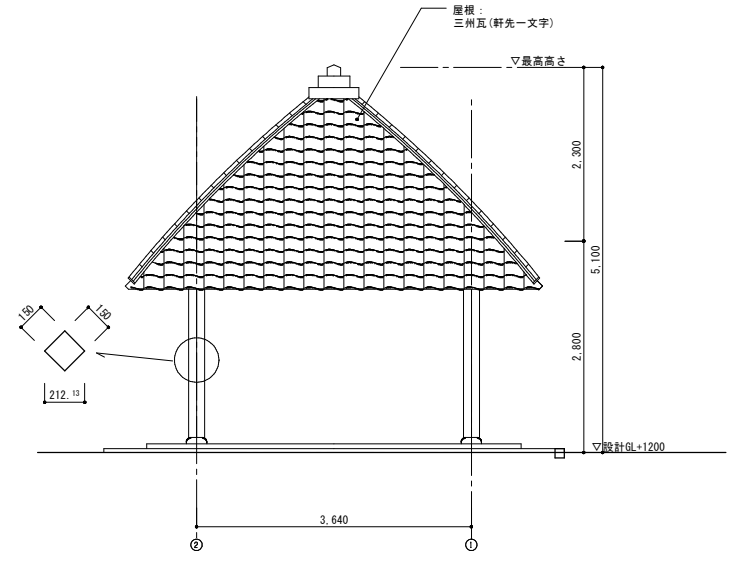


平面図 S=1:50

建築面積・床面積
 $3.64 \times 3.64 = 13.2496$
 13.24 m^2

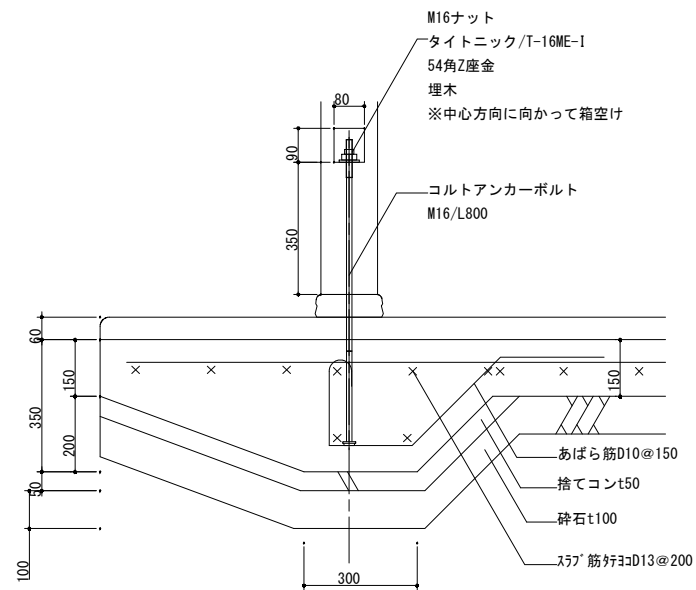


断面図 S=1:50

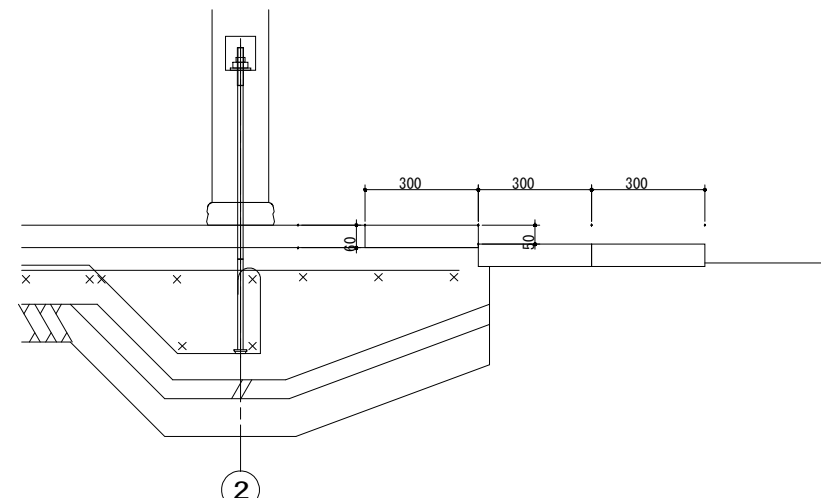


南側立面図 S=1:50

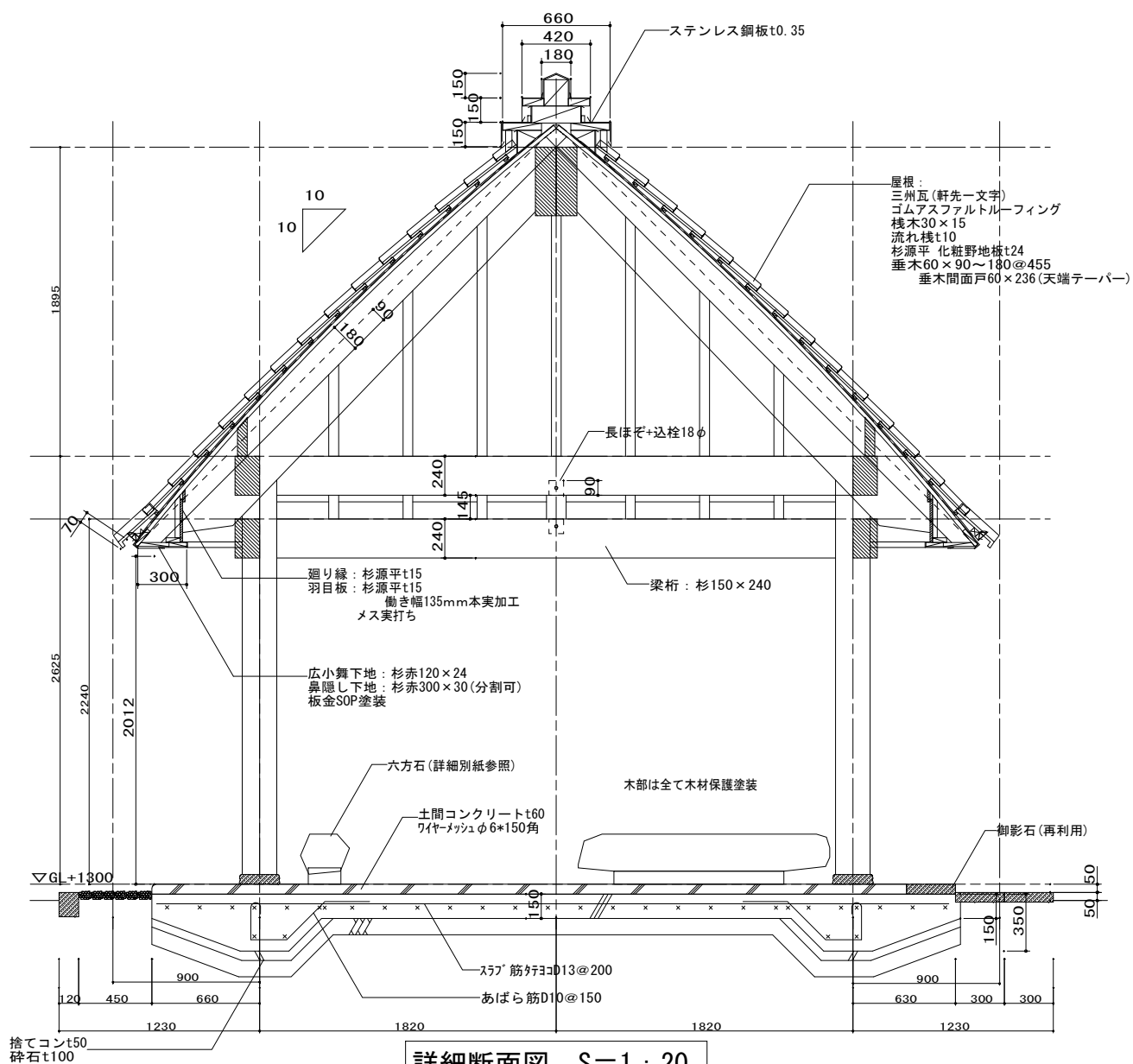
特記事項
 ・屋根瓦のカラーはハイシルバーと黄金とし割合は4:1程度とする。
 ・瓦の配置は監督員の指示による。



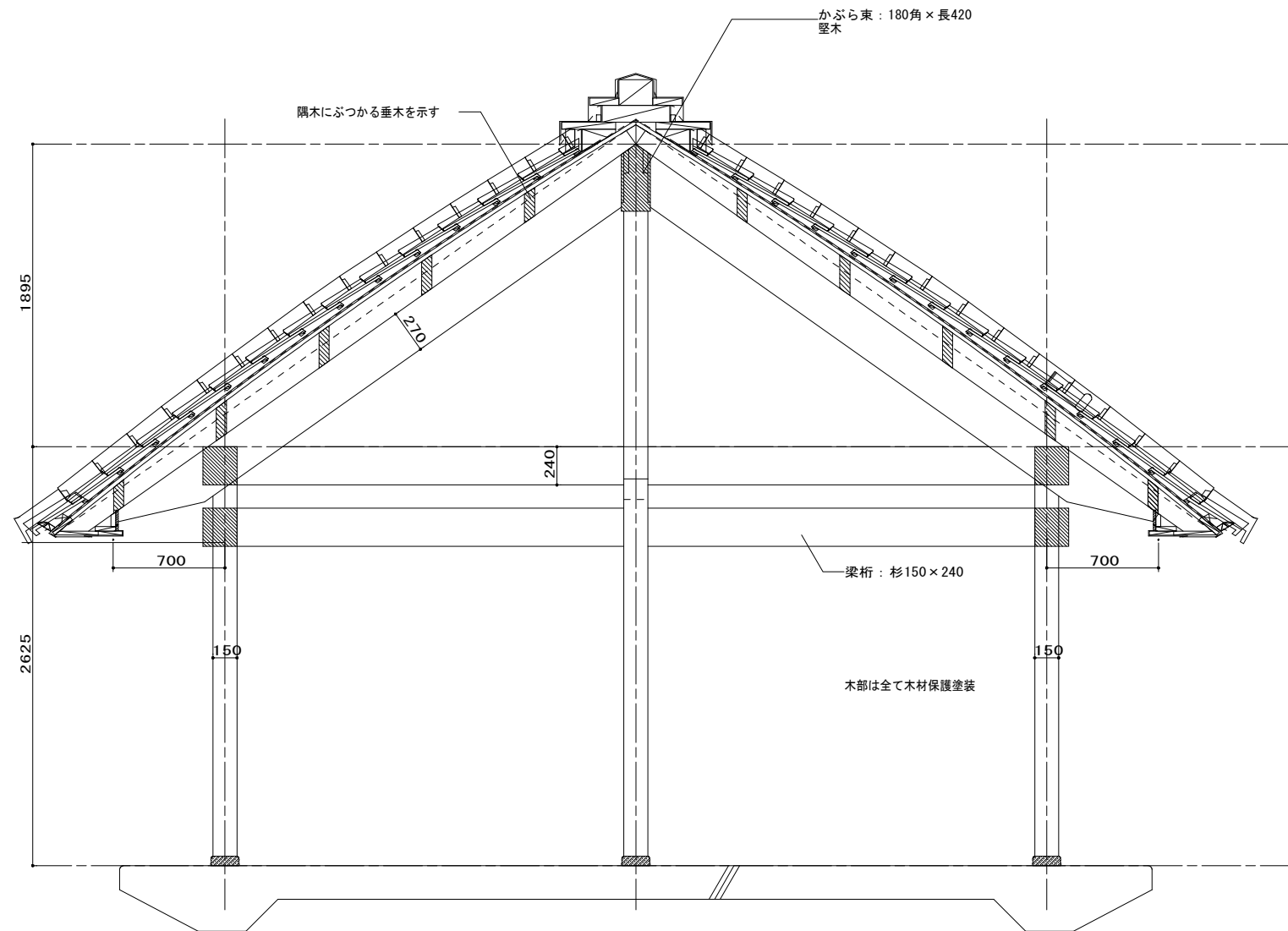
柱脚基礎詳細図 S=1:10



敷石詳細図 S=1:10

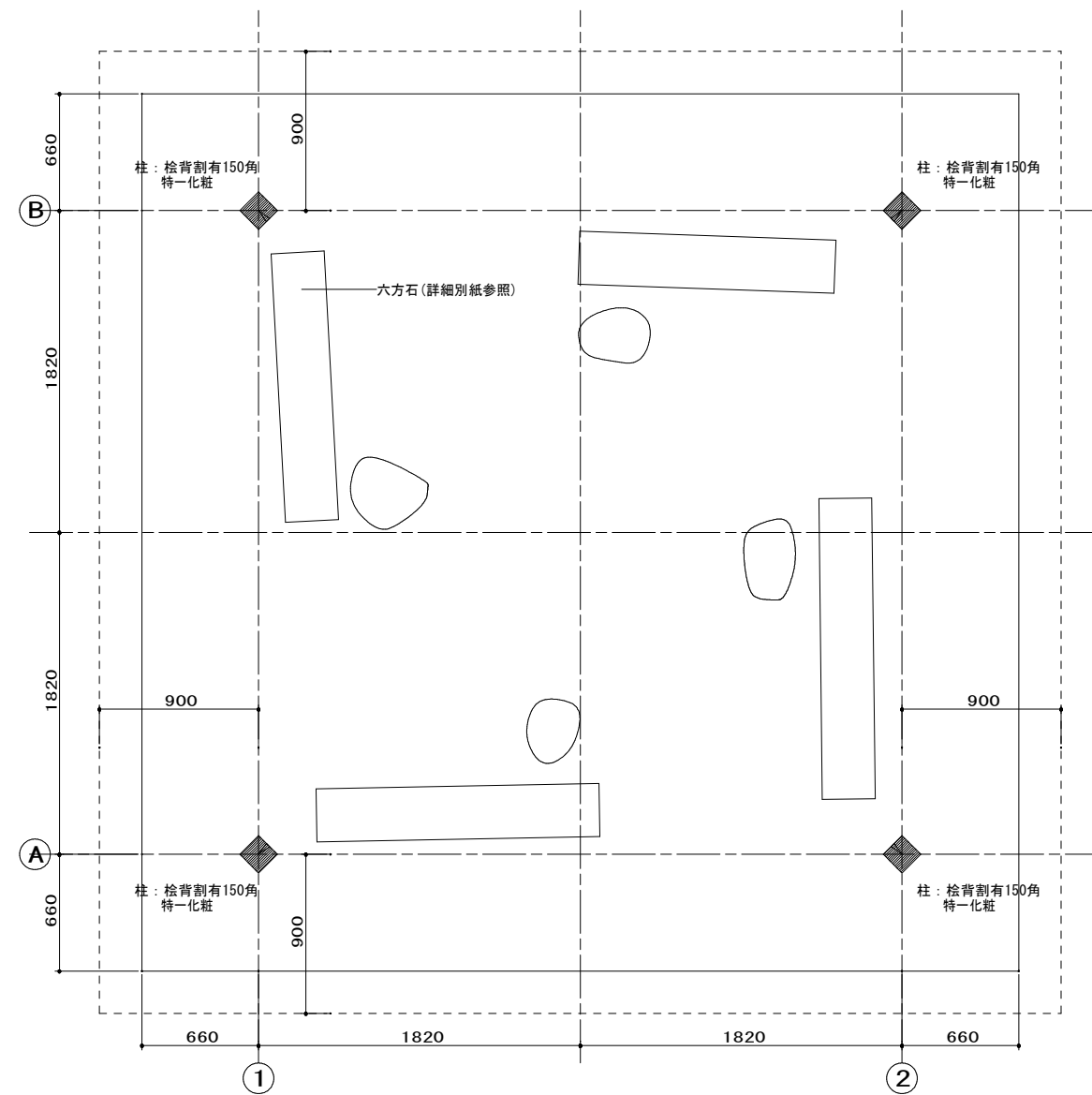


詳細断面図 S=1:20

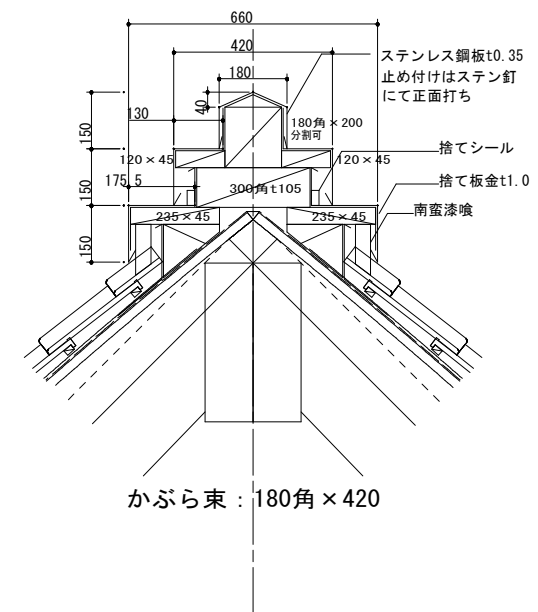


詳細断面図(隅木方向) S=1:20

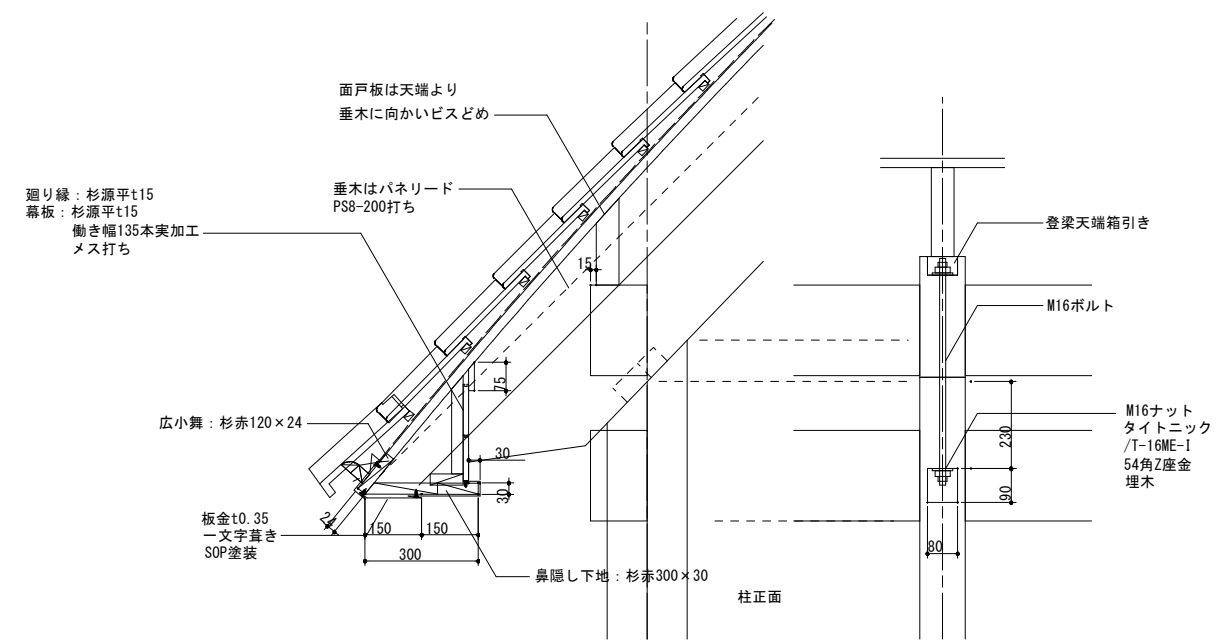
特記事項
・木材は県産材とし天然乾燥材とする。※
(※込み栓、かぶら束は除く)



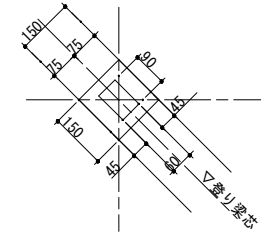
柱伏図 S=1:20



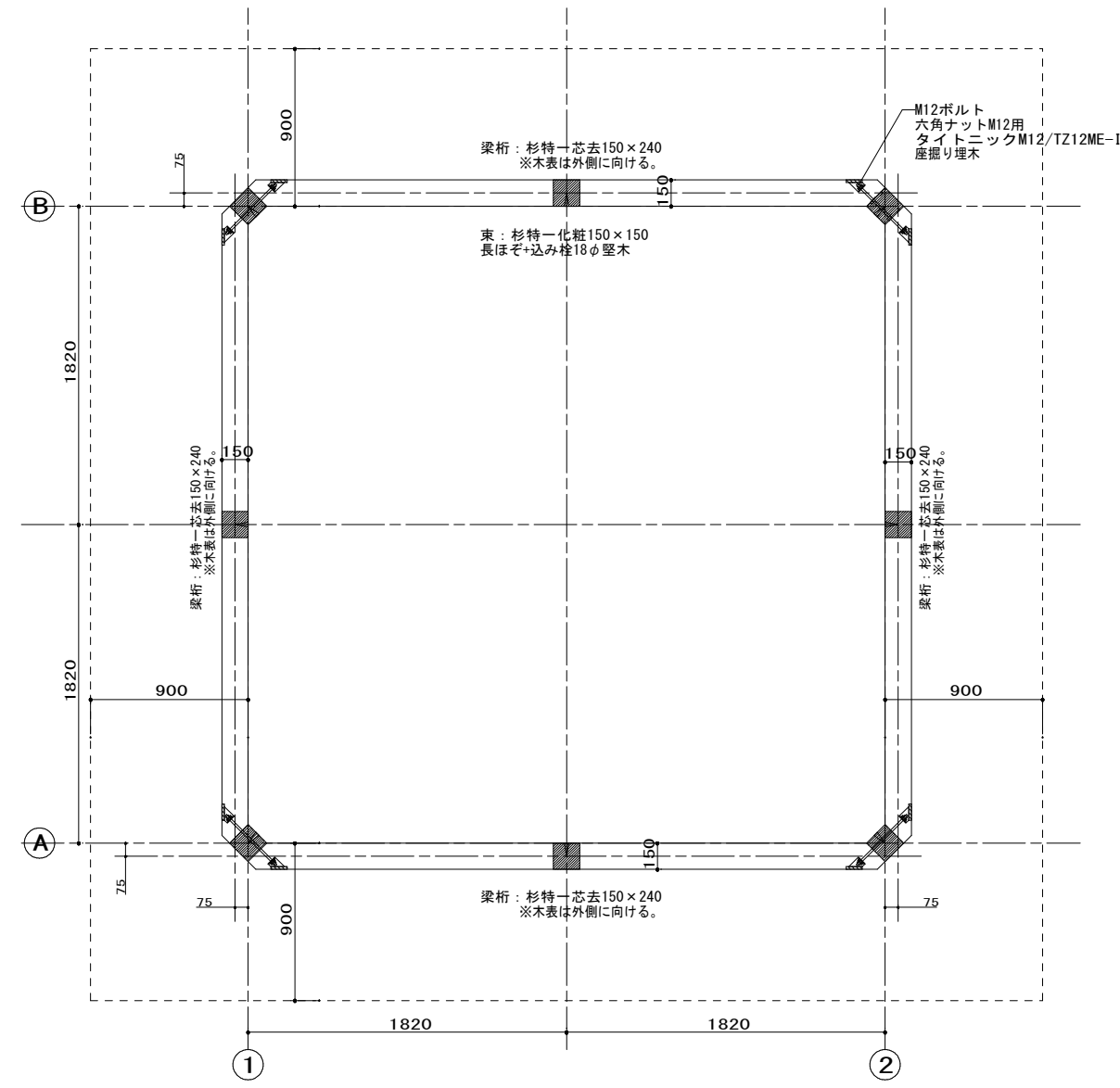
方形頂部詳細図 S=1:10



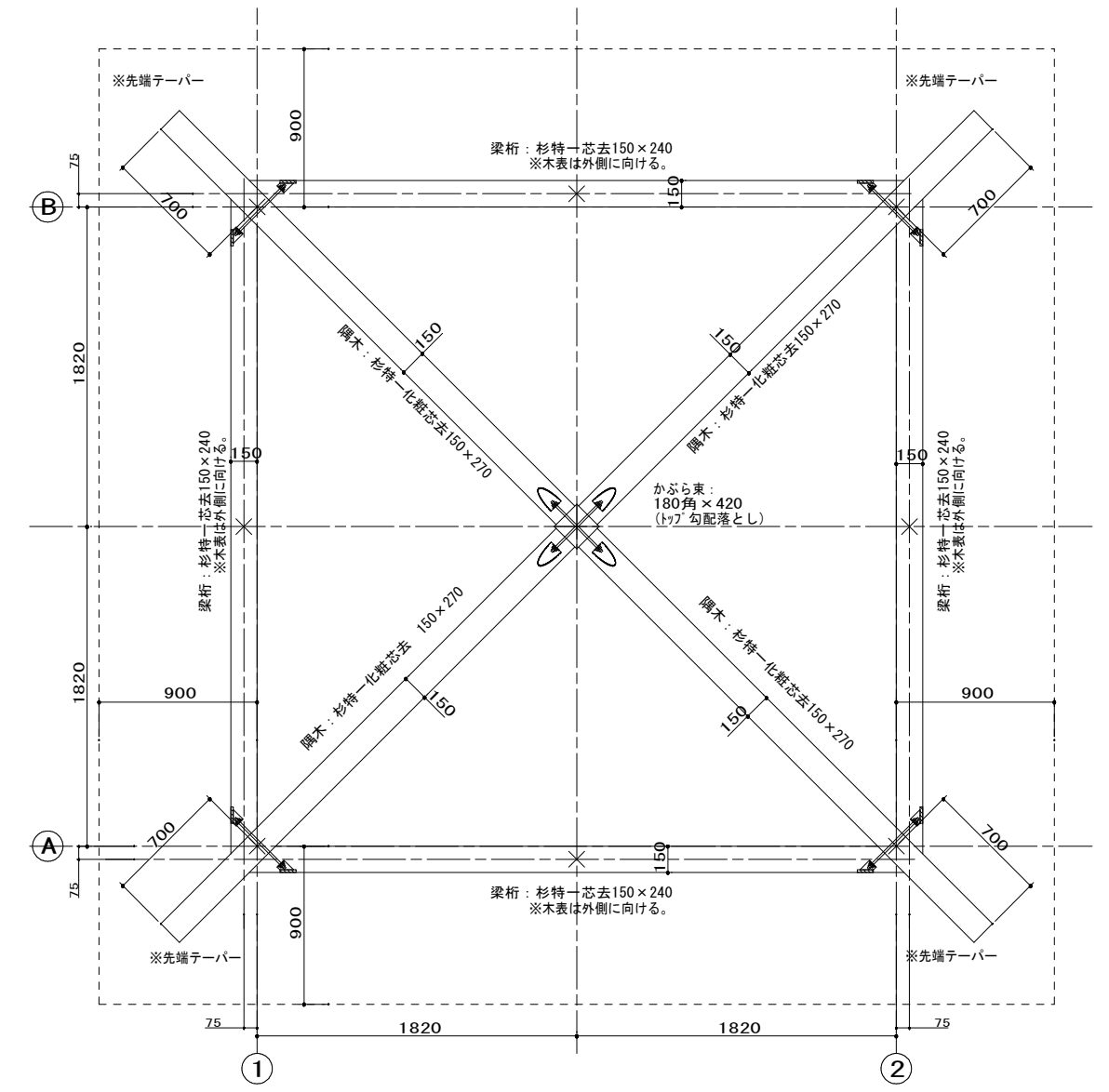
軒先詳細図 S=1:10



柱頭ホゾ差し詳細図 S=1:10

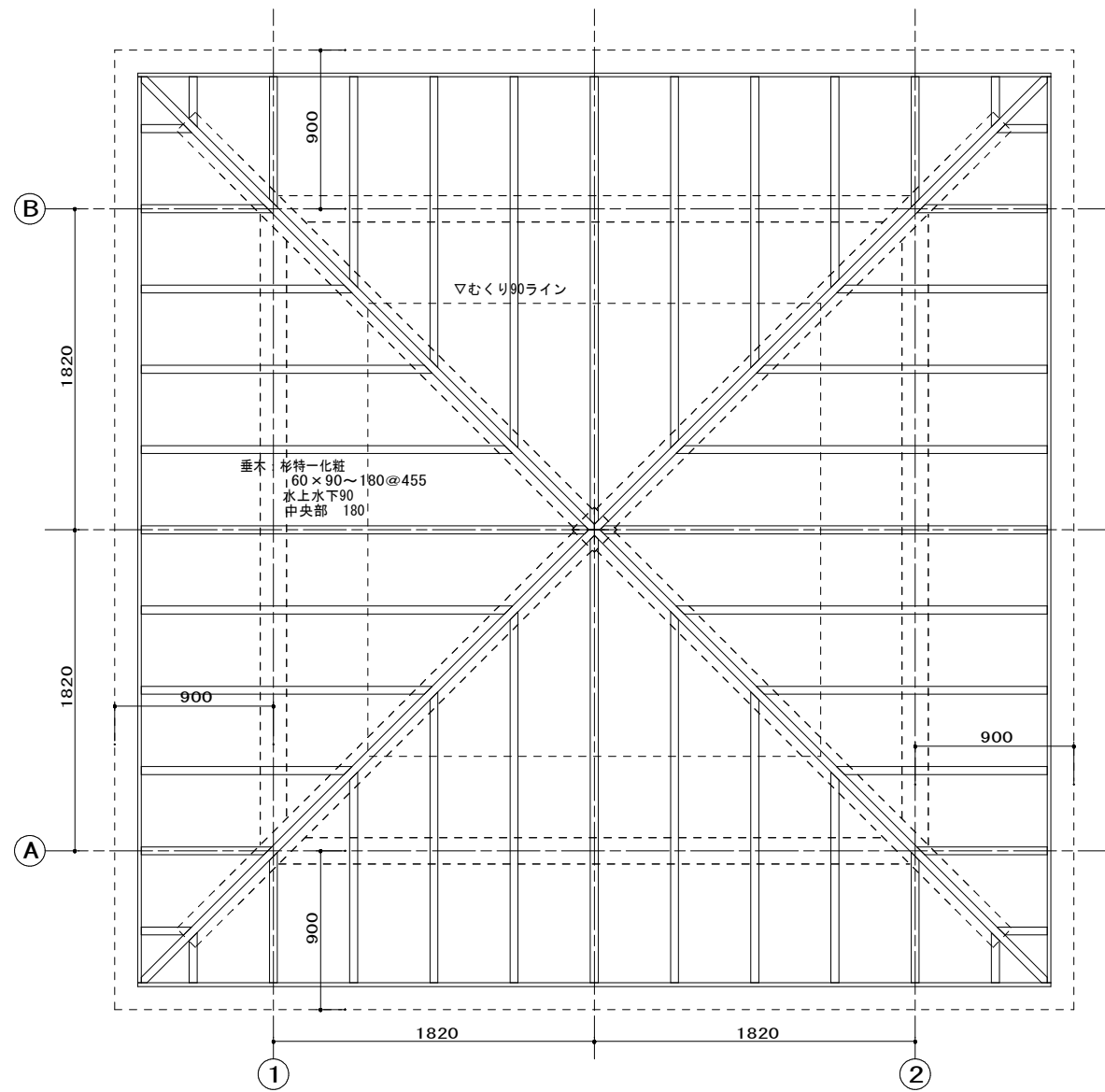


下段梁伏図 S=1:20

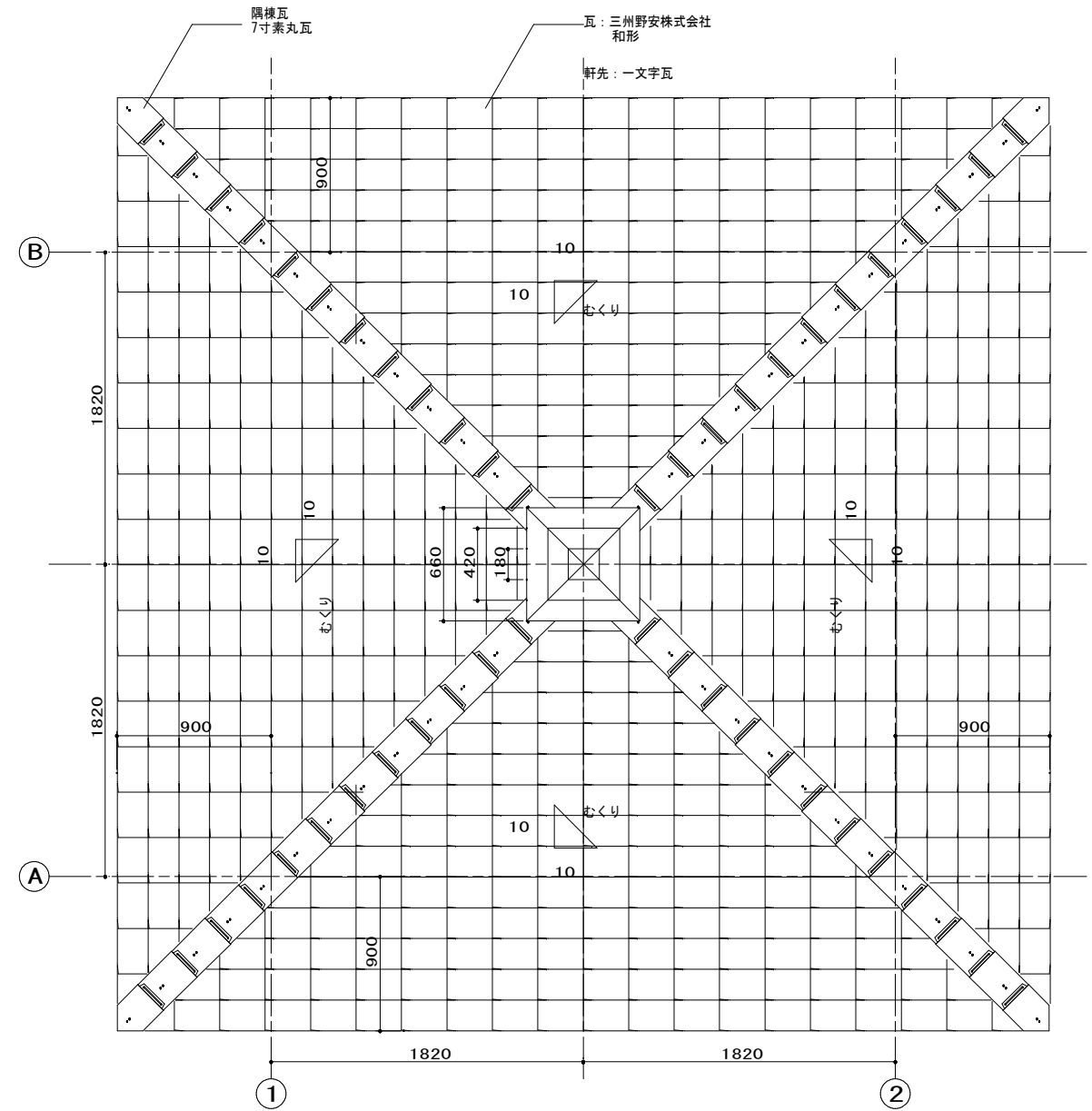


上段梁伏図 S=1:20

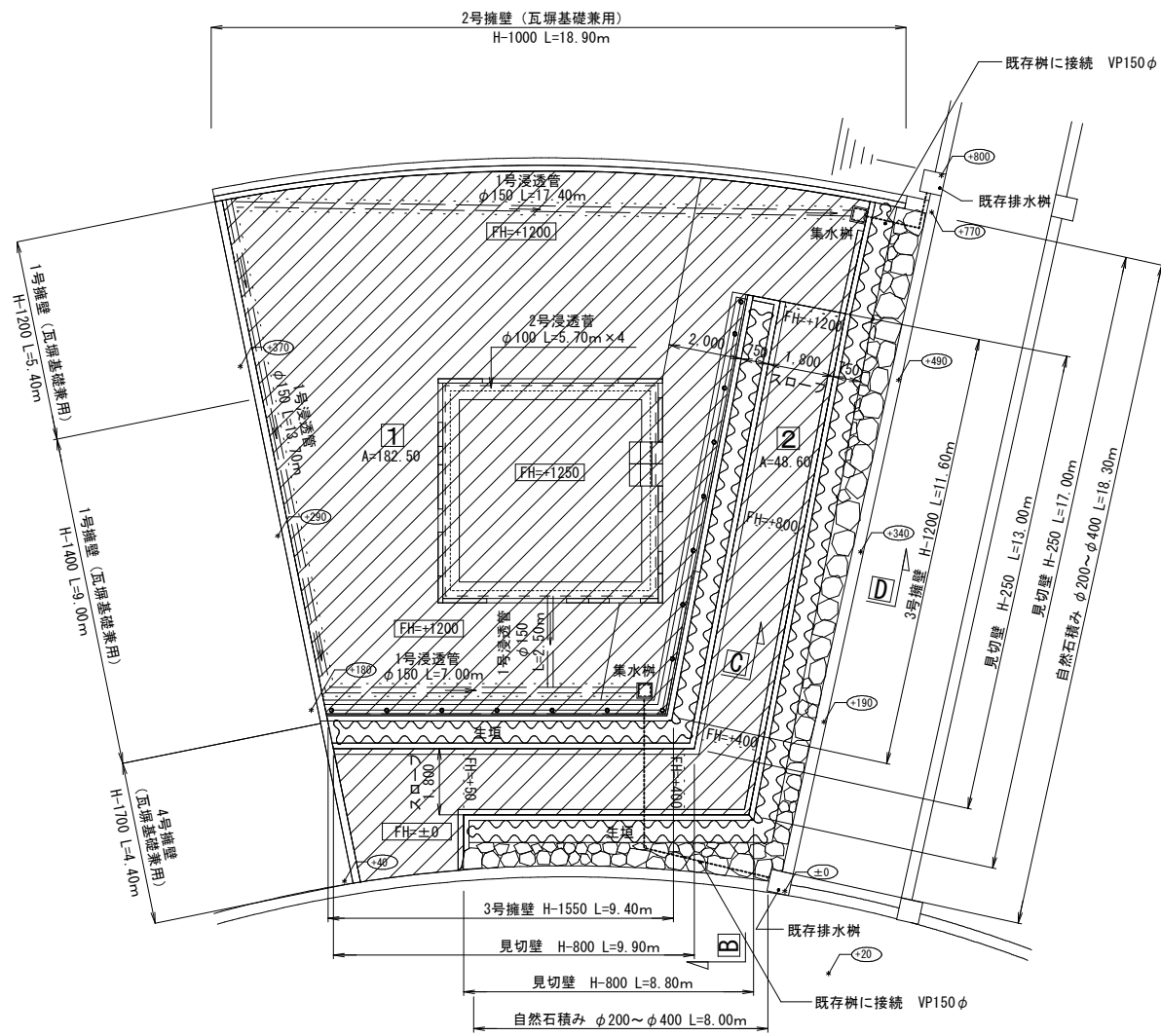
× : 下層柱を示す



垂木伏図 S=1:20



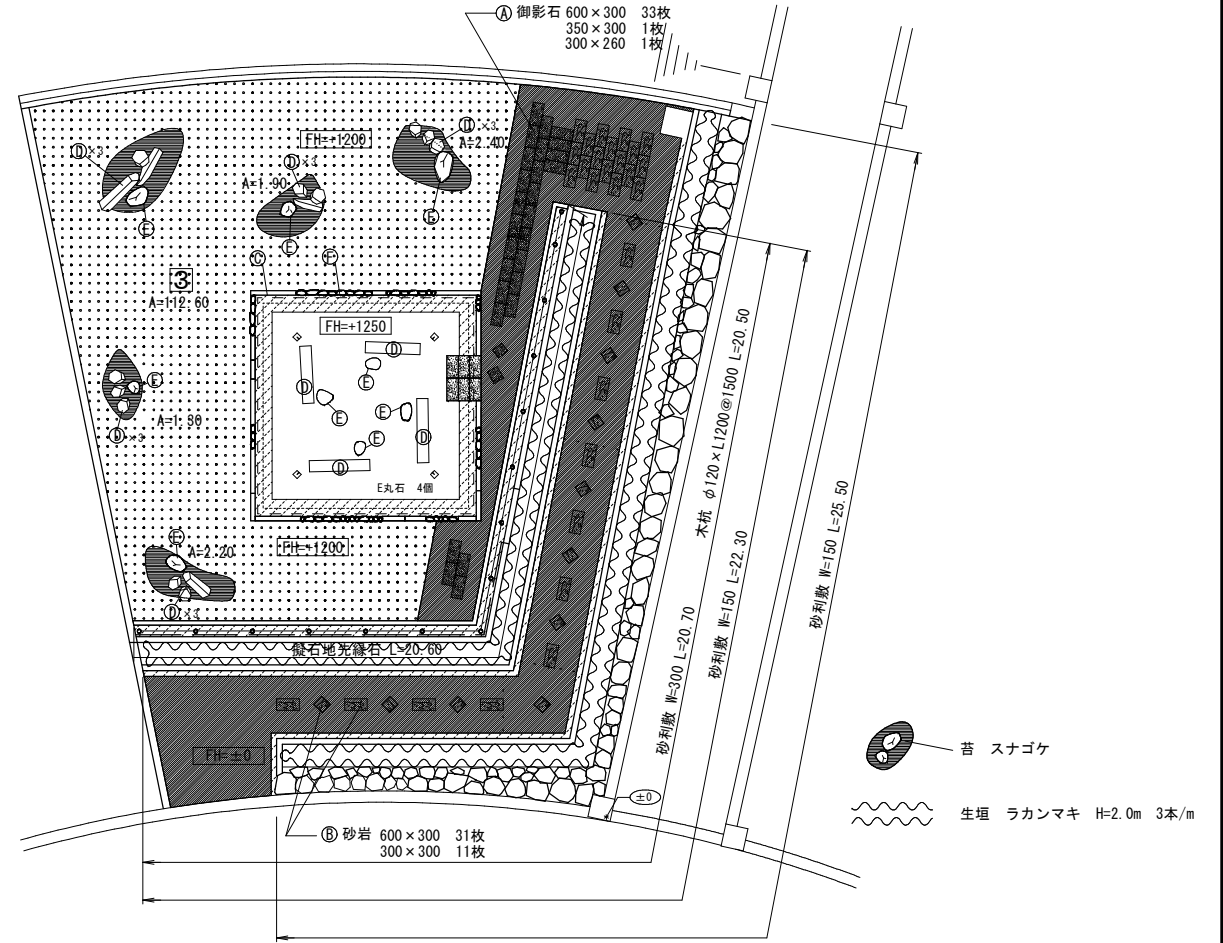
屋根伏図 S=1:20



⊕ = 設計GL
FHは設計GLからの高さを示す。

施設一覧表

記号	名称	算式	単位	数量
	基礎造成(盛土工) ※+1.200-200=+1.000(造成高)	$182.50 \times (1.00 - (0.59 + 0.18) \times 1/2) + 46.60 \times (1.00 + 1/2 - (0.05 + 0.46) \times 1/2)$	m ³	123.4
	1号擁壁(瓦礫基礎兼用) H-1200	5.40	m	5.4
	1号擁壁(瓦礫基礎兼用) H-1400	9.00	m	9.0
	2号擁壁(瓦礫基礎兼用) H-1000	18.90	m	18.9
	3号擁壁 H-1550	9.40	m	9.4
	3号擁壁 H-1200	11.60	m	11.6
	4号擁壁(瓦礫基礎兼用) H-1700	4.40	m	4.4
	見切壁 H-800	9.90+8.80	m	18.7
	見切壁 H-250	13.00+17.00	m	30.0
	自然石積み φ200~φ400	8.00+18.30	m	26.3
	1号浸透管 φ150	13.70+17.40+7.00+2.50	m	40.6
	2号浸透管 φ100	5.70+4	m	22.8
	集水樹	1+1	基	2



再利用する石リスト

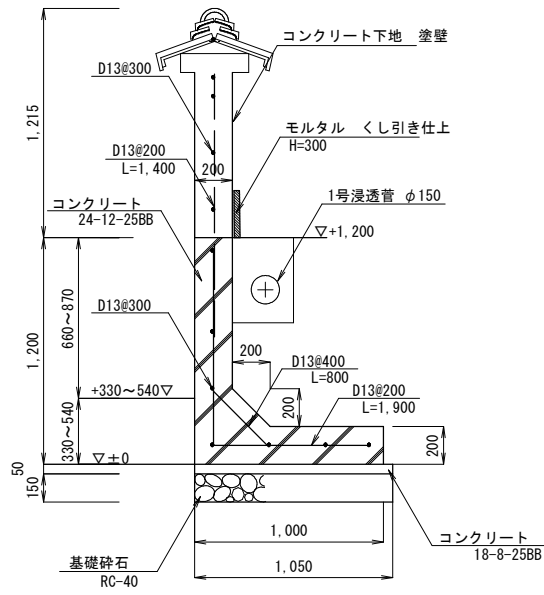
記号	名称	数量
Ⓐ	御影石	33枚
Ⓑ	砂岩	32枚 (31枚使用)
Ⓒ	御影石 見切り	16本
Ⓓ	六方石	19本
Ⓔ	自然石 400~500程度	15本
Ⓕ	自然石 (小)	4本

施設一覧表

記号	名称	算式	単位	数量
	土間コンクリート	$66.30 - (0.60 + 0.30 \times 33) + 0.35 + 0.30 + 1 + 0.35 + 0.30 + 1 + 0.30 + 0.78 + 0.60 + 0.30 + 31$	m ²	54.4
	白川砂利敷き	$112.60 - (2.40 + 1.90 + 3.20 + 1.30 + 2.20)$	m ²	101.6
	擬石地先縁石	20.60	m	20.6
	砂利敷 W=300	20.70 × 0.3	m ²	6.21
	砂利敷 W=150	$(22.30 + 25.50) \times 0.15$	m ²	7.17
	砂利敷 雨受け	5.86 × 5.86 - 4.96 × 4.96	m ²	9.74
	木杭 φ100×L1200@1500	20.50	m	20.5
	御影石 600×300		枚	33
	御影石 350×300		枚	1
	御影石 300×260		枚	1
	砂岩 600×300		枚	31
	砂岩 300×300		枚	11

1号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1200

A1:S=1/20
A3:S=1/40

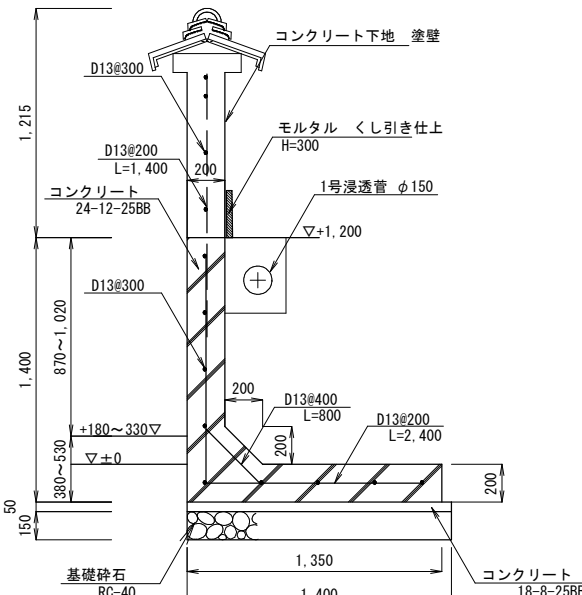


1号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1200 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		1.60×0.60×10.0	m ³	9.6
埋戻し		9.6-(1.05×0.20+0.20×1.20+0.20×1.20)×10.0	m ³	4.9
残土		9.6-4.9	m ³	4.7
床均し		1.05×10.0	m ²	10.5
基礎材	RC-40 t=150	1.05×0.15×10.0	m ²	1.6
コンクリート	18-8-25BB	1.05×0.05×10.0	m ²	0.53
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.20×0.80)+0.20×0.20+0.20×1/2+0.88×0.20+0.36×0.10)×10.0	m ³	6.32
型枠	鉄筋	(1.20×0.98)×2×10.0	m ²	43.6
鉄筋	D13	((1.90×50+0.80×25)+9×10.0)+(1.40×50+4×10.0)×0.995	kg	303.48

1号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1400

A1:S=1/20
A3:S=1/40

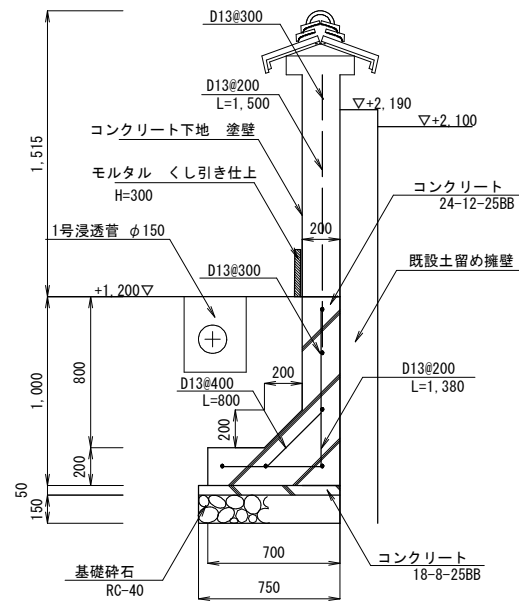


1号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1400 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		1.95×0.60×10.0	m ³	11.7
埋戻し		11.7-(1.40×0.20+0.20×1.55+0.20×1.55)×10.0	m ³	5.6
残土		11.7-5.6	m ³	6.1
床均し		1.40×10.0	m ²	14.0
基礎材	RC-40 t=150	1.40×0.15×10.0	m ²	2.1
コンクリート	18-8-25BB	1.40×0.05×10.0	m ²	0.70
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.40×1.15)+0.20×0.20+0.20×1/2+(0.88×0.20+0.36×0.10)×10.0)	m ³	7.42
型枠	鉄筋	(1.40×0.98)×2×10.0	m ²	47.6
鉄筋	D13	((2.40×50+0.80×25)+9×10.0)+(1.40×50+4×10.0)×0.995	kg	338.30

2号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1000

A1:S=1/20
A3:S=1/40

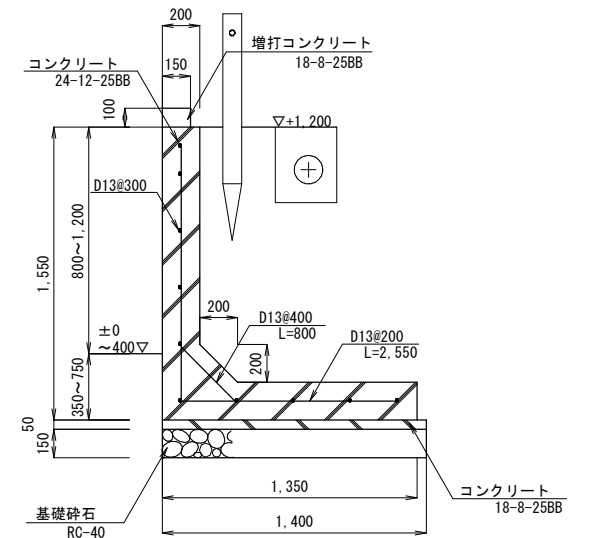


2号擁壁(瓦堀基礎兼用)H-1000 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		1.00×1.20×10.0	m ³	12.0
埋戻し		12.0-(0.75×0.20+0.20×1.00+0.20×0.50+0.20×0.20)×10.0	m ³	4.7
残土		12.0-4.7	m ³	7.3
床均し		0.75×10.0	m ²	7.5
基礎材	RC-40 t=150	0.75×0.15×10.0	m ²	1.1
コンクリート	18-8-25BB	0.75×0.05×10.0	m ²	0.38
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.00×0.50)+0.20×0.20+0.20×1/2+(1.18×0.20+0.36×0.10)×10.0)	m ³	5.92
型枠	鉄筋	(1.00×1.28)×2×10.0	m ²	45.6
鉄筋	D13	((1.38×50+0.80×25)+6×10.0)+(1.50×50+4×10.0)×0.995	kg	262.68

3号擁壁 H-1550

A1:S=1/20
A3:S=1/40

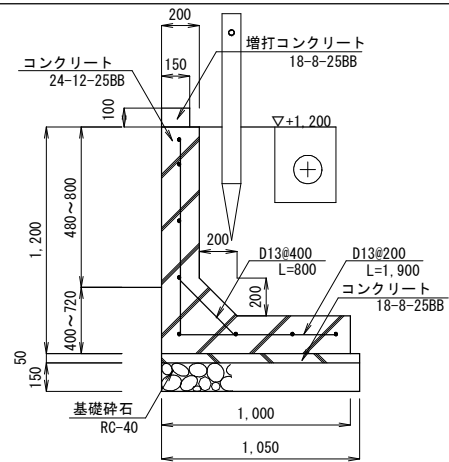


2号擁壁 H-1550 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		1.95×0.60×10.0	m ³	11.7
埋戻し		11.7-(1.40×0.20+0.20×1.55+0.20×1.55)×10.0	m ³	6.1
残土		11.7-6.1	m ³	5.6
床均し		1.40×10.0	m ²	14.0
基礎材	RC-40 t=150	1.40×0.15×10.0	m ²	2.1
コンクリート	18-8-25BB	1.40×0.05×10.0	m ²	0.70
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.55×1.15)+0.20×0.20+0.20×1/2+(0.15×0.10)×10.0)	m ³	5.75
型枠	鉄筋	(1.55×0.10)×2×10.0	m ²	33.0
鉄筋	D13	((2.55×50+0.80×25)+10×10.0)×0.995	kg	246.26

3号擁壁 H-1200

A1:S=1/20
A3:S=1/40

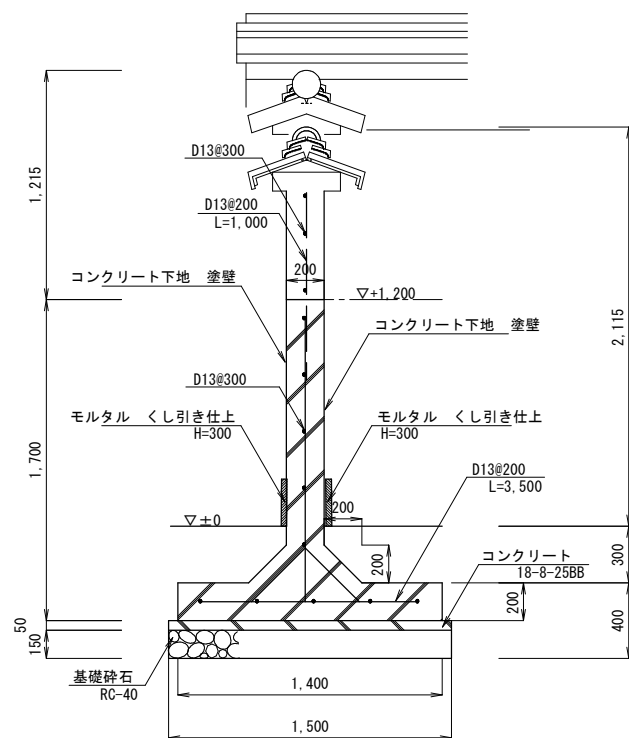


2号擁壁 H-1200 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		1.60×0.60×10.0	m ³	9.6
埋戻し		9.6-(1.05×0.20+0.20×1.20+0.20×1.20)×10.0	m ³	4.9
残土		9.6-4.9	m ³	4.7
床均し		1.05×10.0	m ²	10.5
基礎材	RC-40 t=150	1.05×0.15×10.0	m ²	1.6
コンクリート	18-8-25BB	1.05×0.05×10.0	m ²	0.53
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.20×0.80)+0.20×0.20+0.20×1/2+0.15×0.10)×10.0	m ³	4.35
型枠	鉄筋	(1.20×0.10)×2×10.0	m ²	26.0
鉄筋	D13	((1.90×50+0.80×25)+8×10.0)×0.995	kg	194.03

4号擁壁 H-1700

A1:S=1/20
A3:S=1/40

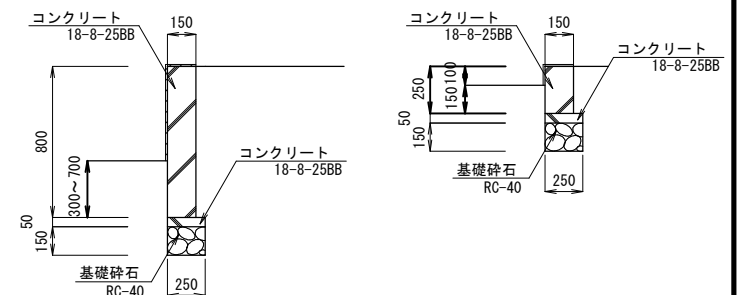


4号擁壁 H-1700 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床堀		2.00×0.70×10.0	m ³	14.0
埋戻し		14.0-(1.50×0.20+0.20×1.40+0.20×1.20+1/2×2×0.20×1.0)×10.0	m ³	7.6
残土		14.0-7.6	m ³	6.4
床均し		1.50×10.0	m ²	15.0
基礎材	RC-40 t=150	1.50×0.15×10.0	m ²	2.3
コンクリート	18-8-25BB	1.50×0.05×10.0	m ²	0.75
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	24-12-25BB	((1.50×1.40)+0.20×0.20+0.20×1/2+(0.58×0.20+0.36×0.10)×10.0)	m ³	7.72
型枠	鉄筋	(1.70×0.68)×2×10.0	m ²	47.6
鉄筋	D13	((3.50×50+10×10.0)+(1.00×50×3×10.0)×0.995	kg	353.22

見切壁 H-800 H-250

A1:S=1/20
A3:S=1/40



見切壁 H-800 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
基礎材	RC-40 t=150	0.25×0.15×10.0	m ²	0.4
コンクリート	18-8-25BB	0.25×0.05×10.0	m ²	0.13
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	18-8-25BB	0.15×0.80×10.0	m ²	1.20
型枠	無筋	0.80×2×10.0	m ²	16.0

見切壁 H-250 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
基礎材	RC-40 t=150	0.25×0.15×10.0	m ²	0.4
コンクリート	18-8-25BB	0.25×0.05×10.0	m ²	0.13
型枠	均し	0.05×2×10.0	m ²	1.0
コンクリート	18-8-25BB	0.15×0.25×10.0	m ²	0.38
型枠	無筋	0.25×2×10.0	m ²	5.0

※4号擁壁の正面部分も塗壁、巾木モルタルとすること。
※塗壁：ジョリパット 灰土 秋風仕上げ等品
現場にて、風合い、色等のサンプルを作成し監督員と協議すること。

1号・2号浸透管

A1:S=1/20
A3:S=1/40

集水桝

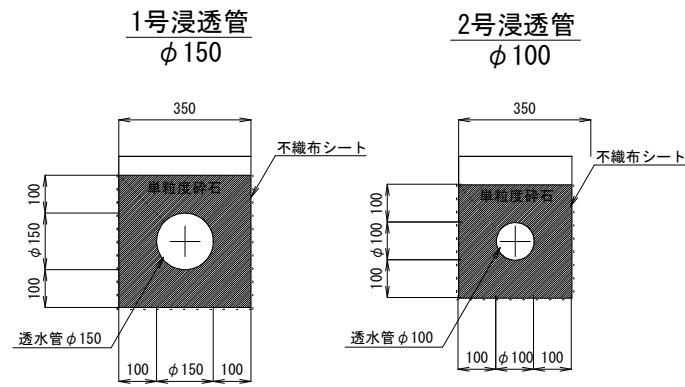
A1:S=1/20
A3:S=1/40

3号・4号擁壁取り合い

A1:S=1/10
A3:S=1/20

4号擁壁（スロープ）取り合い

A1:S=1/10
A3:S=1/20

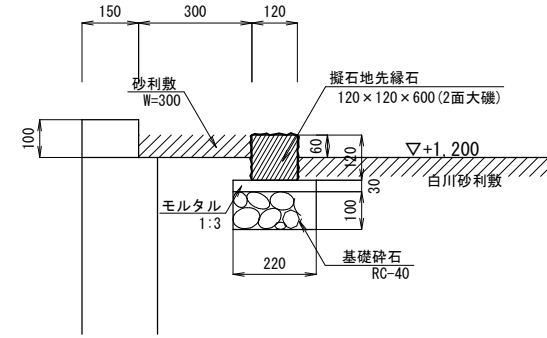
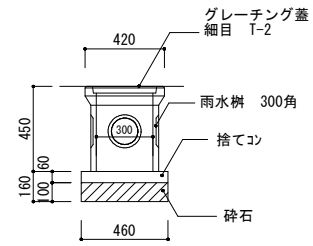


1号浸透管 φ150 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床掘		0.35×0.35×10.0	m ²	1.2
埋戻し	単粒度砕石	1.2-(0.075×0.075×3.14)×10.0	m ²	1.0
残土		1.2-1.0	m ²	0.2
不織布シート		0.35×3×10.0	m ²	10.5
透水管	ポリプロピレン φ150		m	10.0

2号浸透管 φ100 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床掘		0.30×0.30×10.0	m ²	0.9
埋戻し	単粒度砕石	0.9-(0.05×0.05×3.14)×10.0	m ²	0.8
残土		0.9-0.8	m ²	0.1
不織布シート		0.30×3×10.0	m ²	9.0
透水管	ポリプロピレン φ100		m	10.0

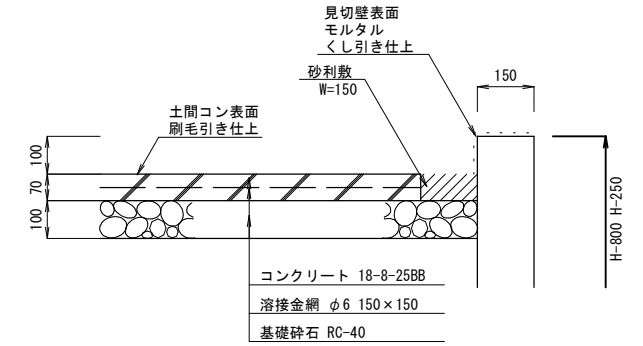


擬石地先縁石 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床均し		0.22×10.0	m ²	2.2
基礎材	RC-40 t=100	0.22×0.10×10.0	m ²	0.2
モルタル	1:3	0.22×0.30×10.0	m ²	0.07
擬石地先縁石	□120×L600 (2面大縁)		m	10.0

砂利敷 W=300 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床均し		0.30×10.0	m ²	3.0
基礎材	RC-40 t=100	0.30×0.10×10.0	m ²	0.3
砂利敷		0.30×0.06×10.0	m ²	0.18



土間コンクリート 数量表 100m²当り

名称	規格	算式	単位	数量
床均し			m ²	100.0
基礎材	RC-40 t=100	0.10×100.0	m ²	10.0
コンクリート	18-8-25BB	0.07×100.0	m ²	7.00
型枠	均し W=150	66.6×0.07×2	m ²	9.3
溶接金網	φ6 150×150		m ²	100.0
刷毛引き仕上			m ²	100.0

4号擁壁表面仕上 数量表 10m当り

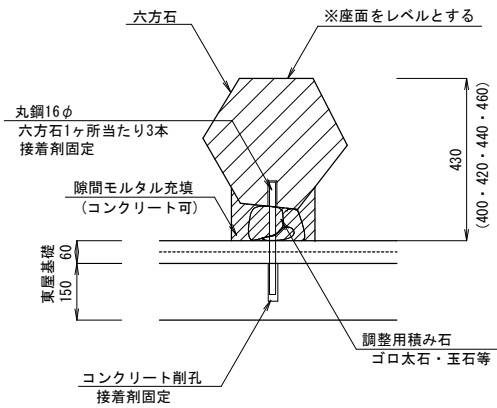
名称	規格	算式	単位	数量
モルタル		(0.15+(0.10×0.60)×1/2)×10.0	m ²	5.0

砂利敷 W=150 数量表 10m当り

名称	規格	算式	単位	数量
床均し		0.15×10.0	m ²	1.5
基礎材	RC-40 t=100	0.15×0.10×10.0	m ²	0.2
砂利敷		0.15×0.07×10.0	m ²	0.11

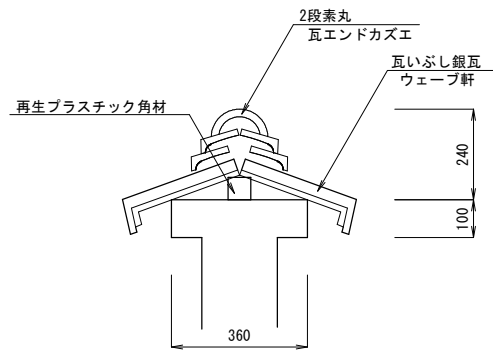
六方石ベンチ

A1:S=1/10
A3:S=1/20



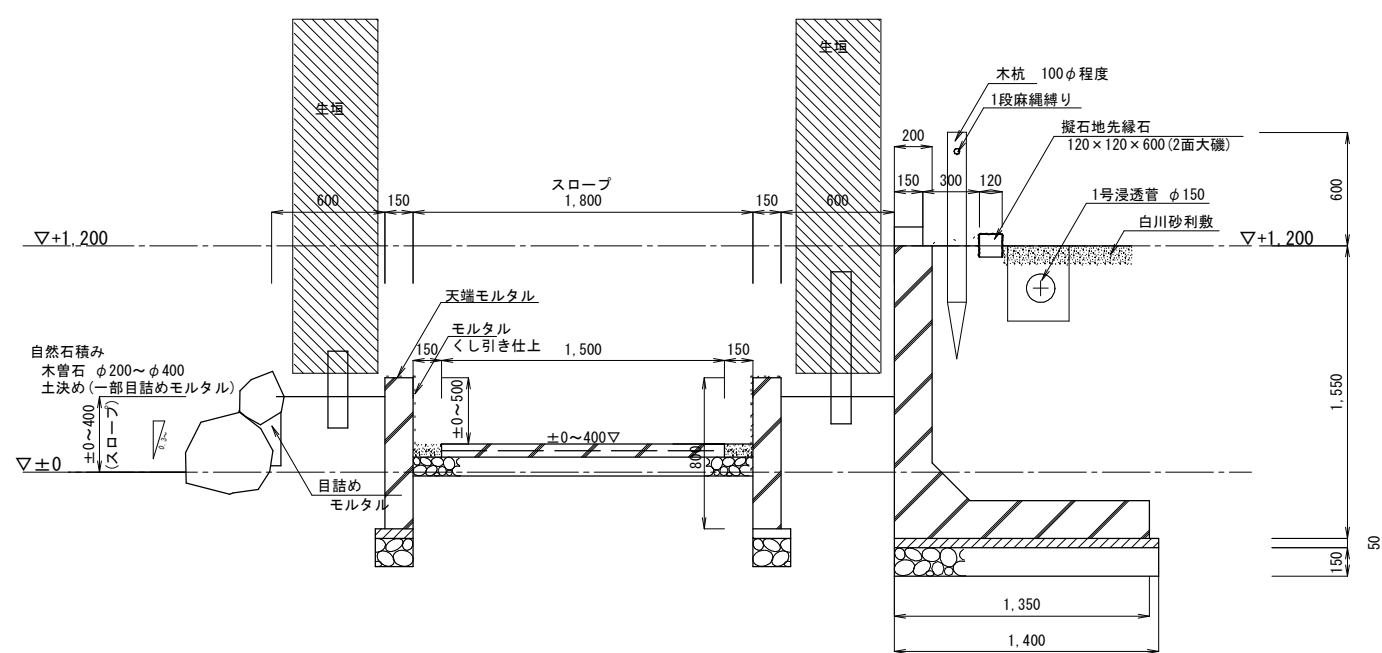
瓦葺き

A1:S=1/10
A3:S=1/20



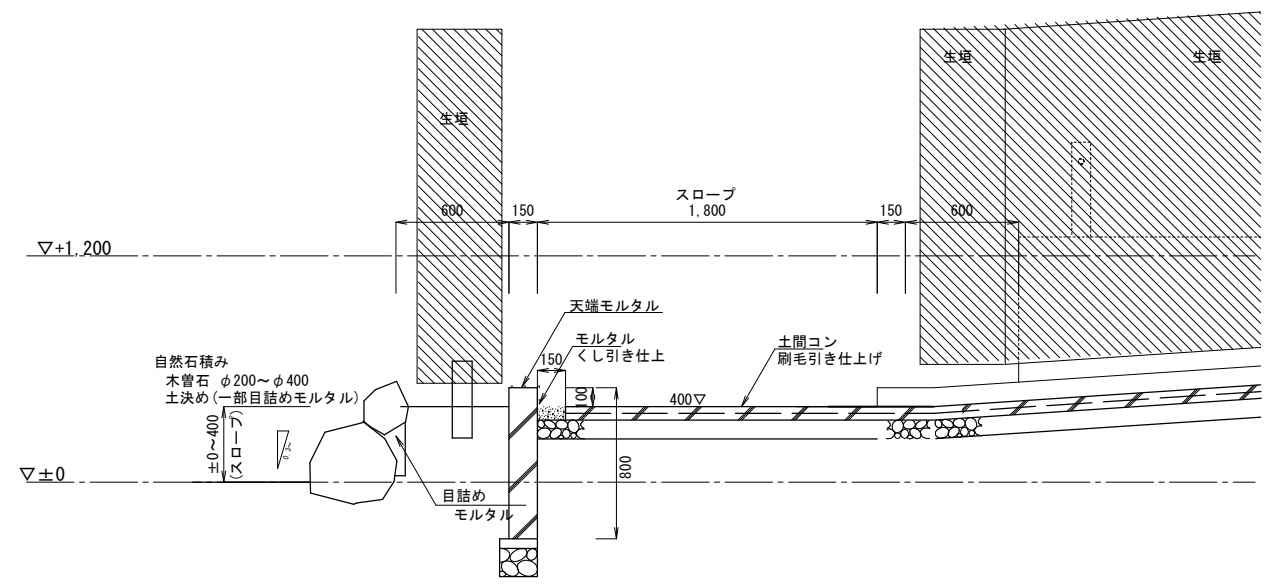
A 標準断面図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



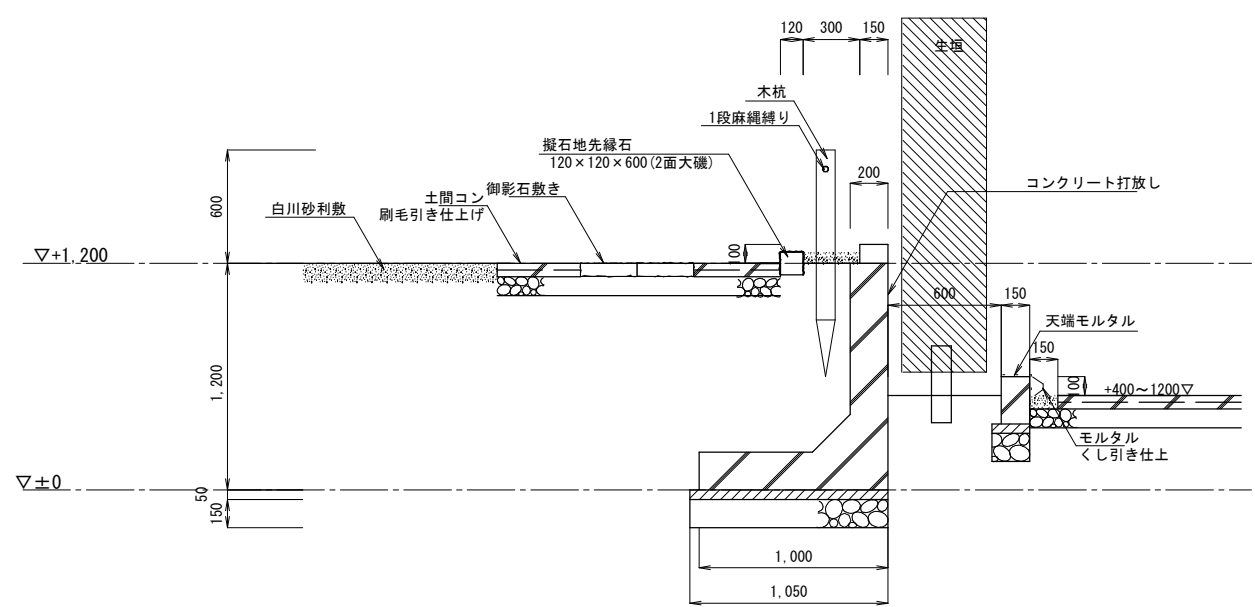
B 標準断面図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



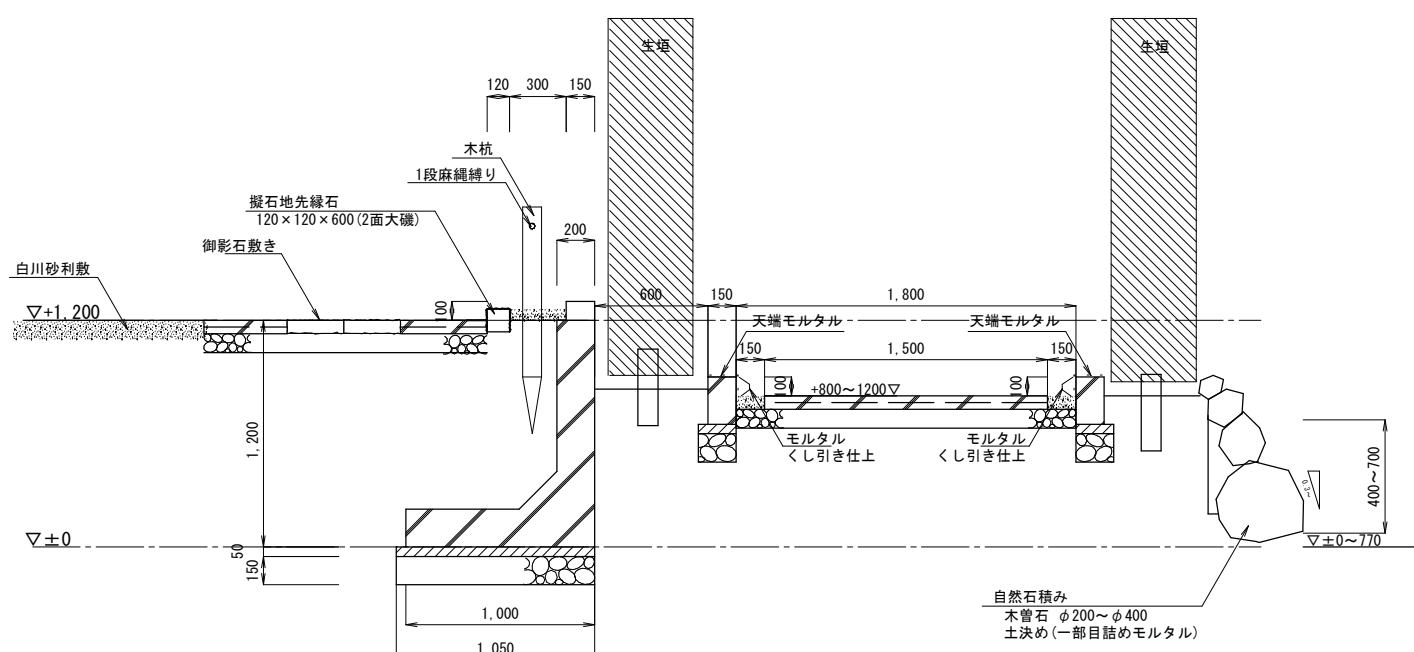
C 標準断面図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



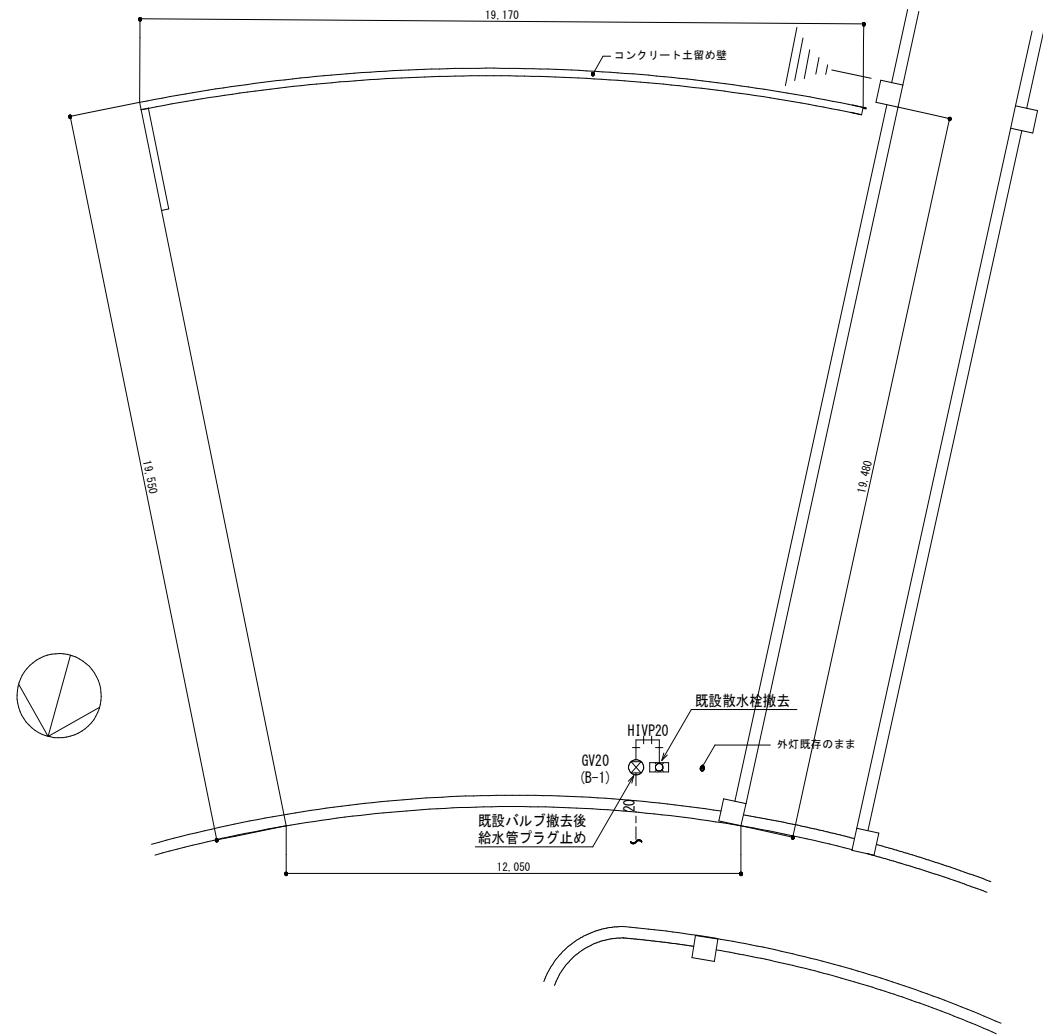
D 標準断面図

A1:S=1/20
A3:S=1/40



現況

凡例	
— — —	既設
— — —	撤去

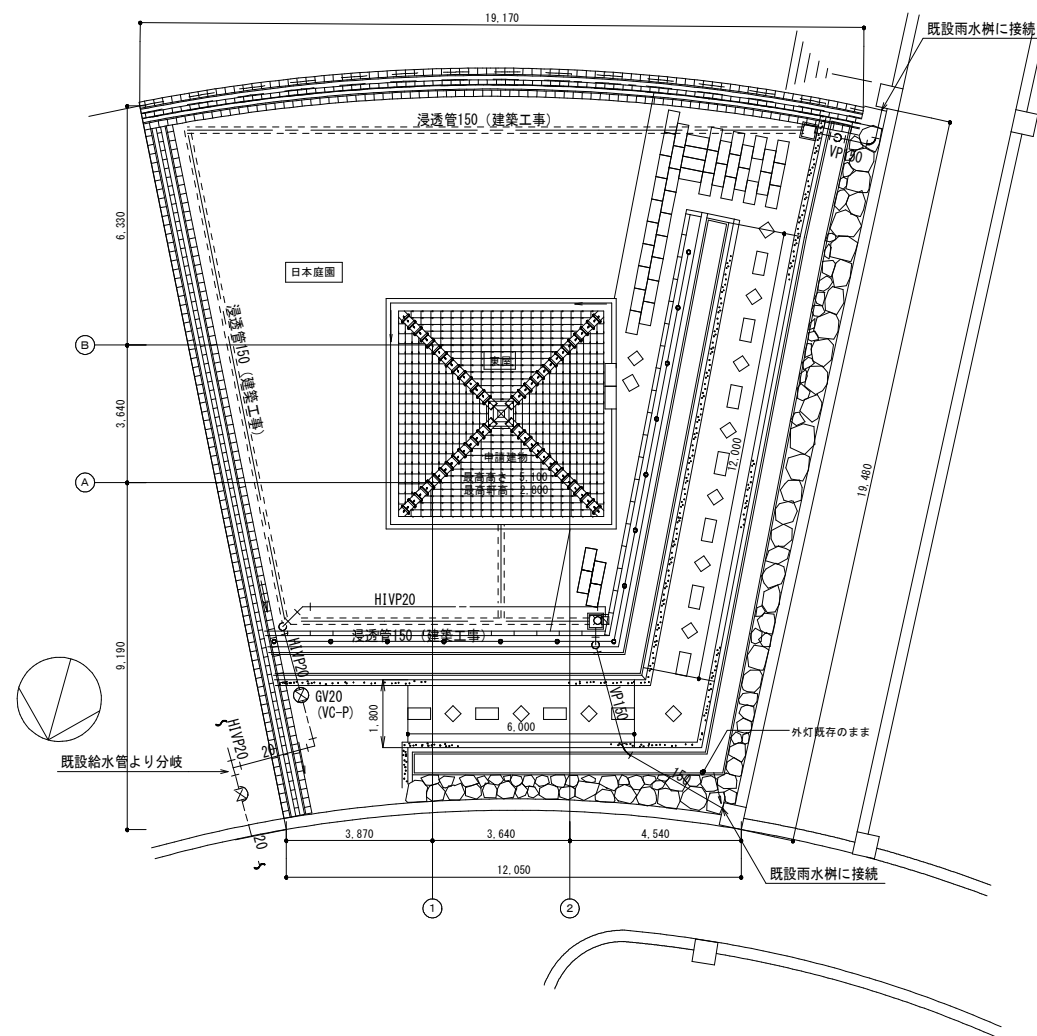


現況平面図 S=1:100

改修後

凡例	
— — —	既設
— — —	新設

※ 水栓柱の取付位置は現場にて再度確認すること。



平面図 S=1:100

衛生器具表 (新設) ※ 型番は参考とし同等品にて変更可。

名称	仕様	参考品番 (TOTO)	参考品番 (LIXIL)	合計
横水栓	キー式	T200CSNR13	LF-7RG-13	1
水栓柱	石目調, L=800	624-151 (カクダイ)		1